

2024.2.17@博物館友の会

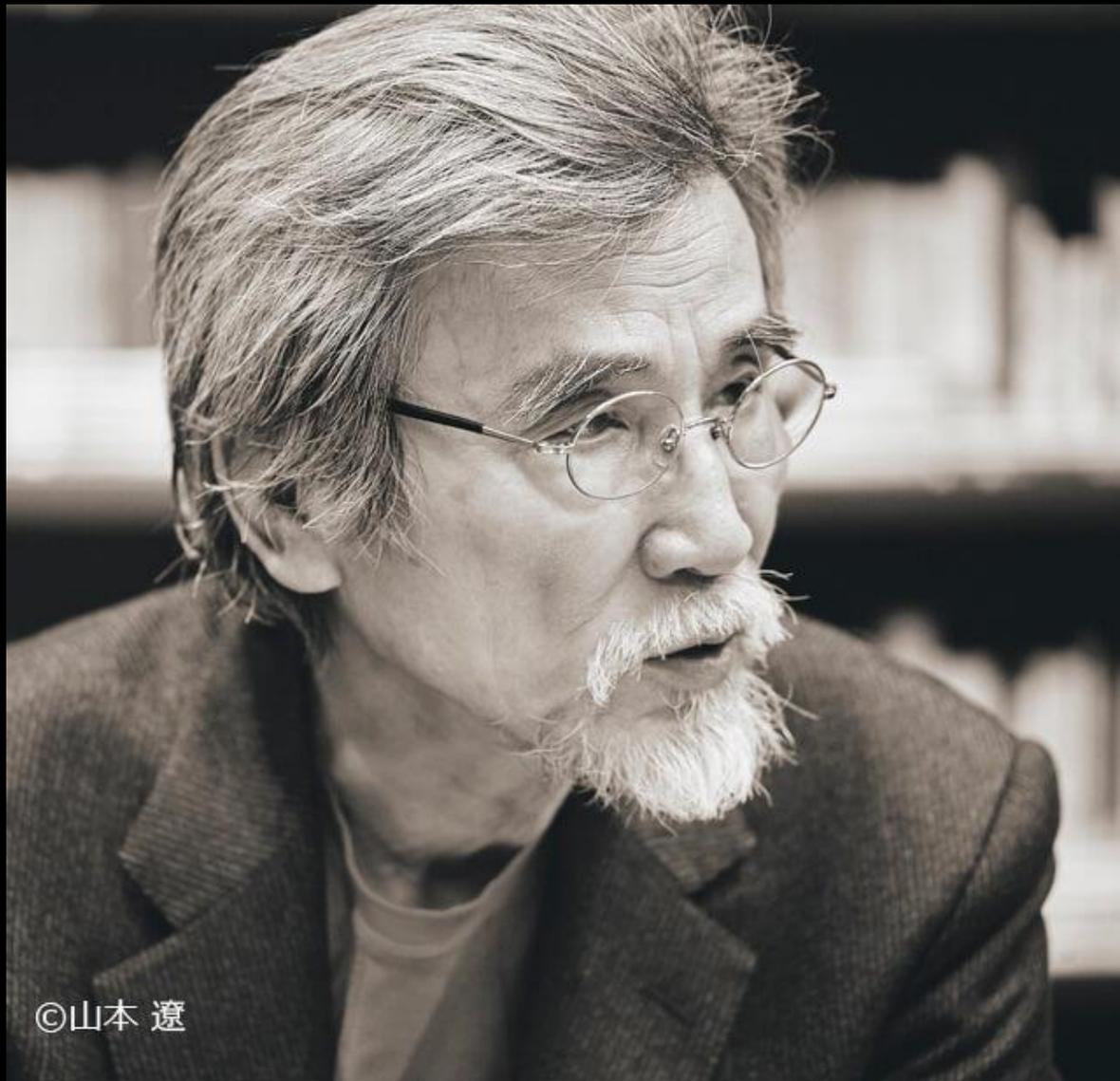
**（仮称）総合ミュージアム（たたき台）を
見て感じたこと
～丸藤目線より～**

一般社団法人 みなみ北海道地域づくりサポートセンター
代表理事 丸藤 競（まるふじ きそお）



総合ミュージアム

理想的なミュージアムにしたい
気持ちは理解できますし、
私も、そうありたいとは
思いますが・・・



©山本 遼

館長 松岡正剛

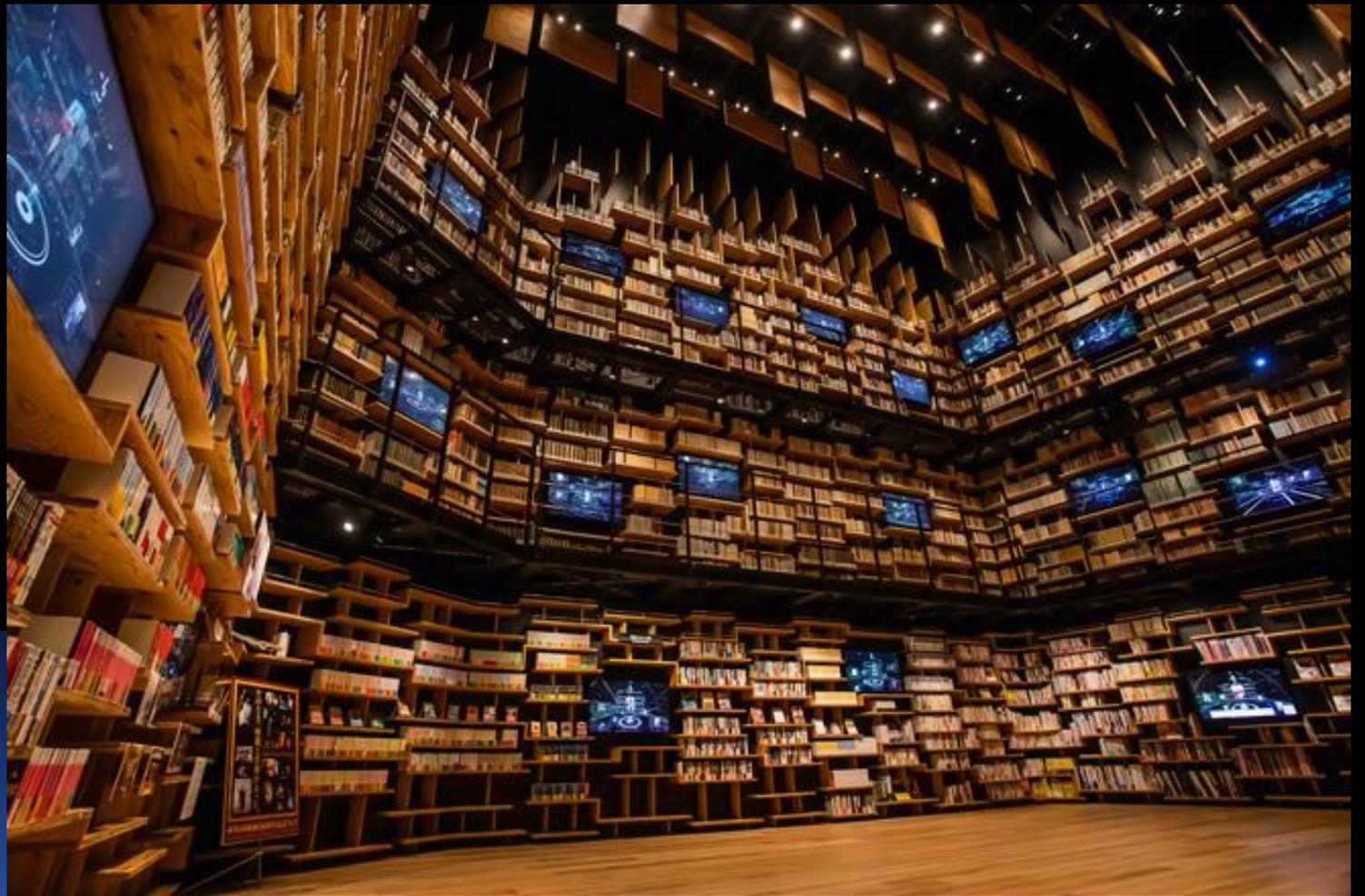
想像力とアニメに遊ぶミュージアム Kadokawa Culture Museum

想像する。連想する。空想する。
世界中のみんなが子供のころからやってきたこと
です。私たちにはいろいろな想像がいっぱい出入りしています。その想像から星座のかたちが生まれ、神々や仏像が登場し、怪物や赤ずきんやかぐや姫やスーパーマンや鉄腕アトムが物語られてきました。

文学や建築や絵画や音楽は、そうした想像力を組み合わせて芸術に仕立てていきました。そうした芸術表現のための文房具や画布や楽器や部屋といった道具立ても工夫してきました。そこには科学や技術の工夫もありました。もともとミュージアムとは、そうしたミュージアムたちの想像力の成果を収納したり展示したりするところでした。

感じる。楽しむ。考える。

図書館

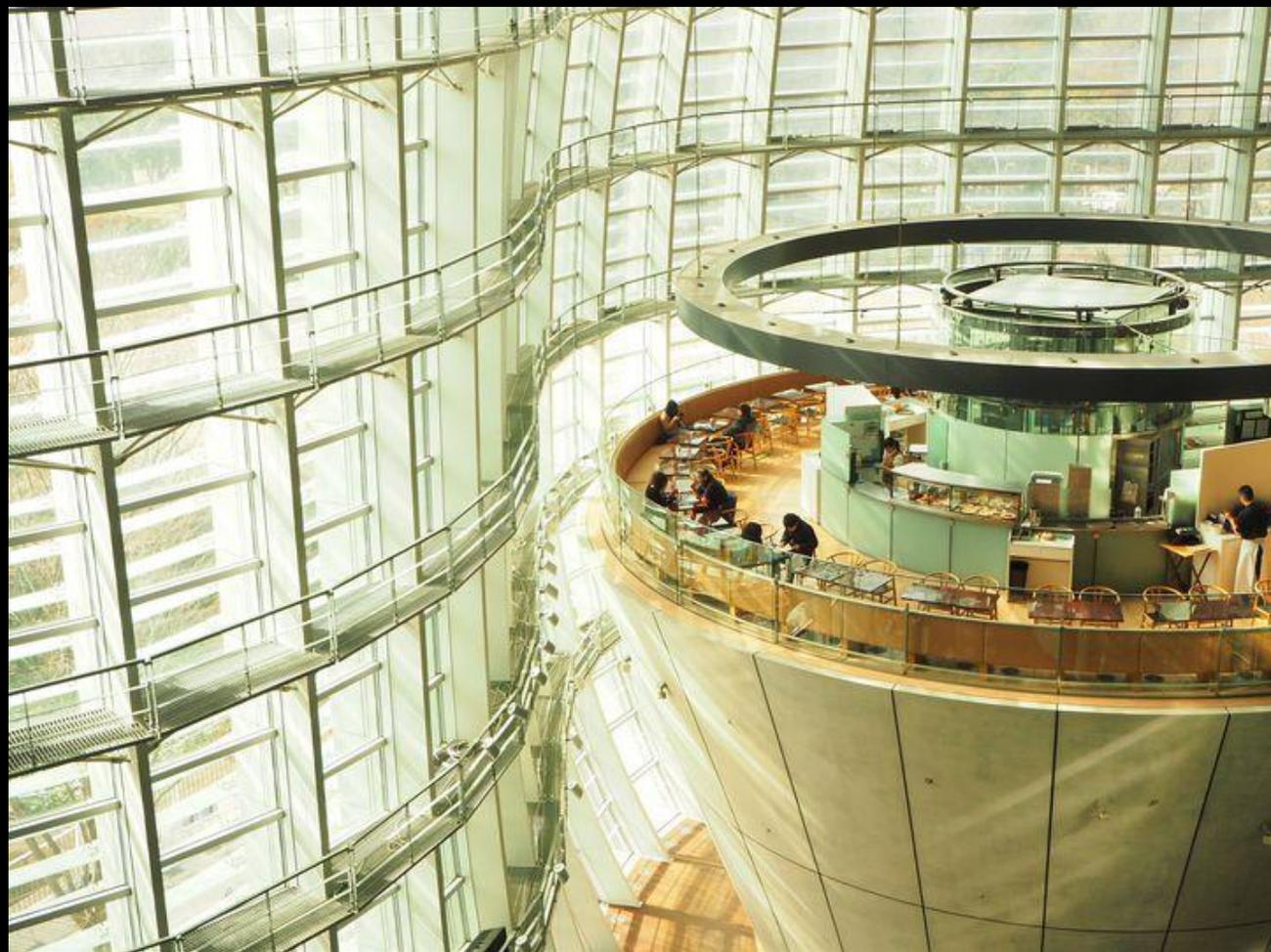


角川武蔵野ミュージアム

水族館



美術館



新国立美術館

企業ミュージアム

ニッカミュージアム 余市蒸留所



博物館



オホーツクミュージアムえさし

道の駅



道の駅 おびら鯨番屋



道の駅 あびらD51ステーション



知床世界遺産センター
(道の駅うとろ・シリエトク のとなり)

希望その1

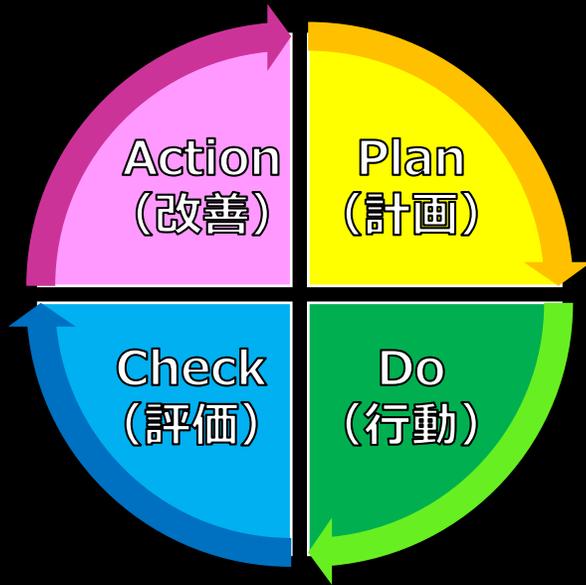
実現に向けては、

AAR



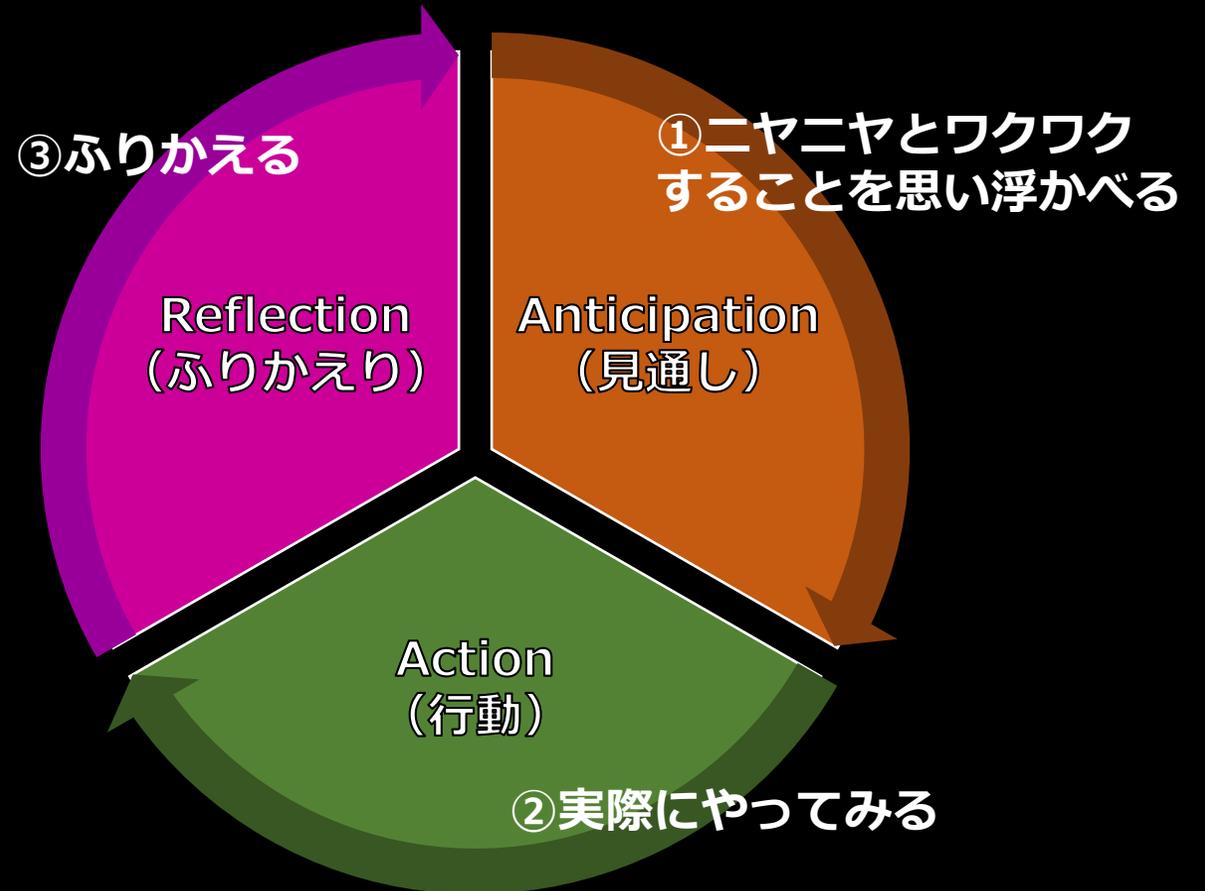
ロジックモデル

PDCAサイクル



評価を前提に、必ず達成できる計画しかたてないため、サイクルを回すほど小さくなる。

AARサイクル



「こうすればもっと楽しくなるぞ！」と未来に期待して、行動する。やればやるほど期待が大きくなるので、サイクルは拡大していく。

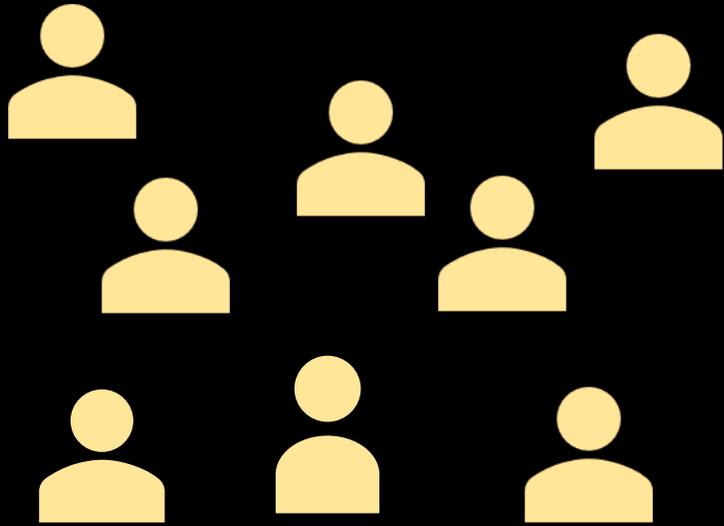
ワクワクするミュージアム

- ・ 「？」と「！」で、ワクワクさせたい！
- ・ 市民が主役で、ワクワクさせる！
- ・ とにかくみんなが、ワクワクする！

ポイント！

- どんなことでワクワクさせる？
- どんな人と一緒にワクワクできる？
- ワクワクをどう増やしていく？

ワクワクできる ミュージアム

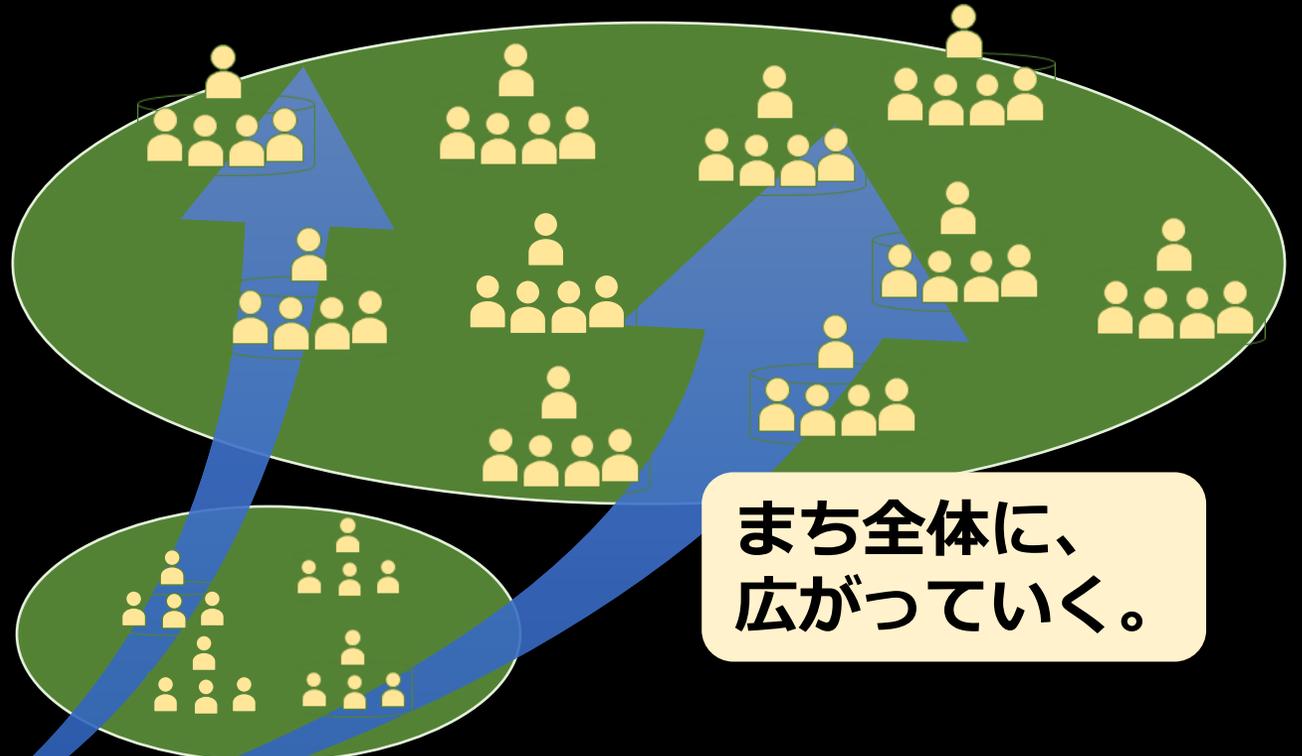


地域の人たちが、
ワクワクをつくっていく

最初は、ささやかな動きでも



ワクワクが増えていくと



まち全体に、
広がっていく。

ロジックモデル

ロジックモデル

「成果を出すための流れ」を
見える化させるもの。（設計図）

未来思考で！

フォアキャストイング
(確率の高い未来を予測する)

確からしさを求めるために、現状に
絡めとられてしまう

未来

現状

バックキャストイング
(あるべき姿を想定し、備える)

あるべき未来が「来るもの」と仮定して、
「そのために、何をするか？」と考える
(できない理由ではなく、できるための
ことを考える)

事業の流れ

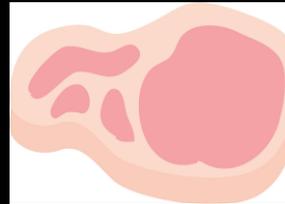
活動に必要な
人、モノ等
(投入財)

投入財を使った
価値を生み出す
活動。

活動によって生まれた
数字などで表せる
具体的結果。

アウトプットを
通じて生じる
成果。

最終的に目指す
理想の姿。



「最上位のアウトカム達成」のための流れをつくる必要がある！

コンセプト

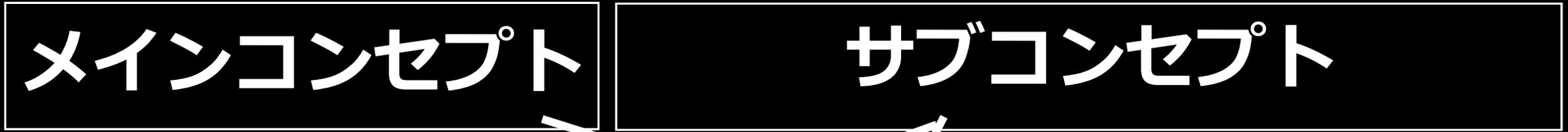
概念。基本的な考え方。

アウトカム

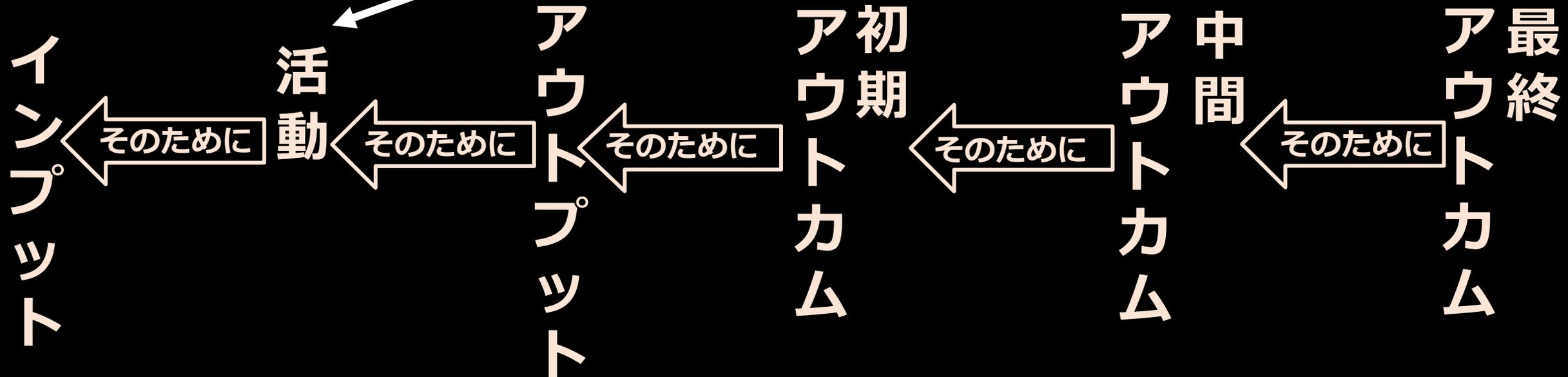
得られる成果

最終アウトカムを決めてからでなくては、
コンセプトは決められない。

たたき台では・・・



実現させていくためには・・・



右（最上位のアウトカム）から考え、左（インプット）から実践していく。

大谷翔平 2010

0-0 体のケア	0-1 サプリメント をのせ	0-2 FSQ 90kg	1-0 フォーム改善	1-1 体幹強化	1-2 軸をぶらさ	2-0 角度を上げる	2-1 上からボール をたたく	2-2 リストの 強化
0-7 柔軟性	0-0 体づくり	0-3 RSQ 130kg	1-7 リリースポイント の安定	1-0 コントロール	1-3 不安をなくす	2-7 力まない	2-0 キレ	2-3 下半身主導
0-0 スタミナ	0-3 可動域	0-3 杯 朝3杯	1-0 下肢の強化	1-5 体を開かぬ	1-4 メンタルコントロール をする	2-6 ボールを 前でリリース	2-5 回転数アップ	2-4 可動域
0-0 胸をきりとした 目標的を	7-1 喜愛 しない	7-2 頭は冷静 心は熱く	0 体づくり	1 コントロール	2 キレ	3-0 軸をまぬ	3-1 下肢の強化	3-2 体重増加
7-7 ピッチに 強い	7-0 メンタル	7-3 素直な 流れない	7 メンタル	7 ドラ1 8球団	3 スピード 160km/h	3-7 体幹強化	3-0 スピード 160km/h	3-3 肩周りの強化
7-4 涙を 流さない	7-5 勝利への 執念	7-6 仲間を 思いやる心	6 人間性	5 運	4 変化球	3-6 可動域	3-5 ライナー キャッチボール	3-4 ピッチング を増やす
6-0 感性	6-1 愛される人間	6-2 計画性	5-0 おしゃつ	5-1 ゴミ拾い	5-2 部屋を片づ	4-0 キャッチボール を増やす	4-1 フォーム完成	4-2 スライターの キレ
6-7 思いやり	6-0 人間性	6-3 感謝	5-7 道具を 大切に使う	5-0 運	5-3 審判への 態度	4-7 遅く落差の あるカーブ	4-0 変化球	4-3 左打者への 決まり球
6-6 礼儀	6-5 信頼される人間	6-4 継続力	5-6 プラス思考	5-5 応援される 人間になる	5-4 本を読む	4-6 ストレートと同じ フォームで投げ	4-0 スライクから ボールに投 げるとコントロール	4-4 実行力を イメージ

ヒト・モノ・コト
(アクティビティ)

期待される
成果

あるべき姿
(最終アウトカム)

活動に必要な
人、モノ等
(投入財)

投入財を使った
価値を生み出す
活動。

活動によって生まれた
数字などで表せる
具体的結果。

アウトプットを
通じて生じる
成果。

最終的に目指す
理想の姿。

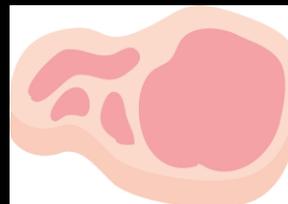
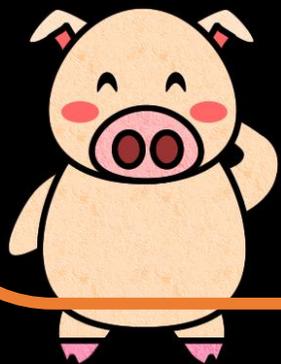
インプット

活動

アウトプット

アウトカム

最上位の
アウトカム

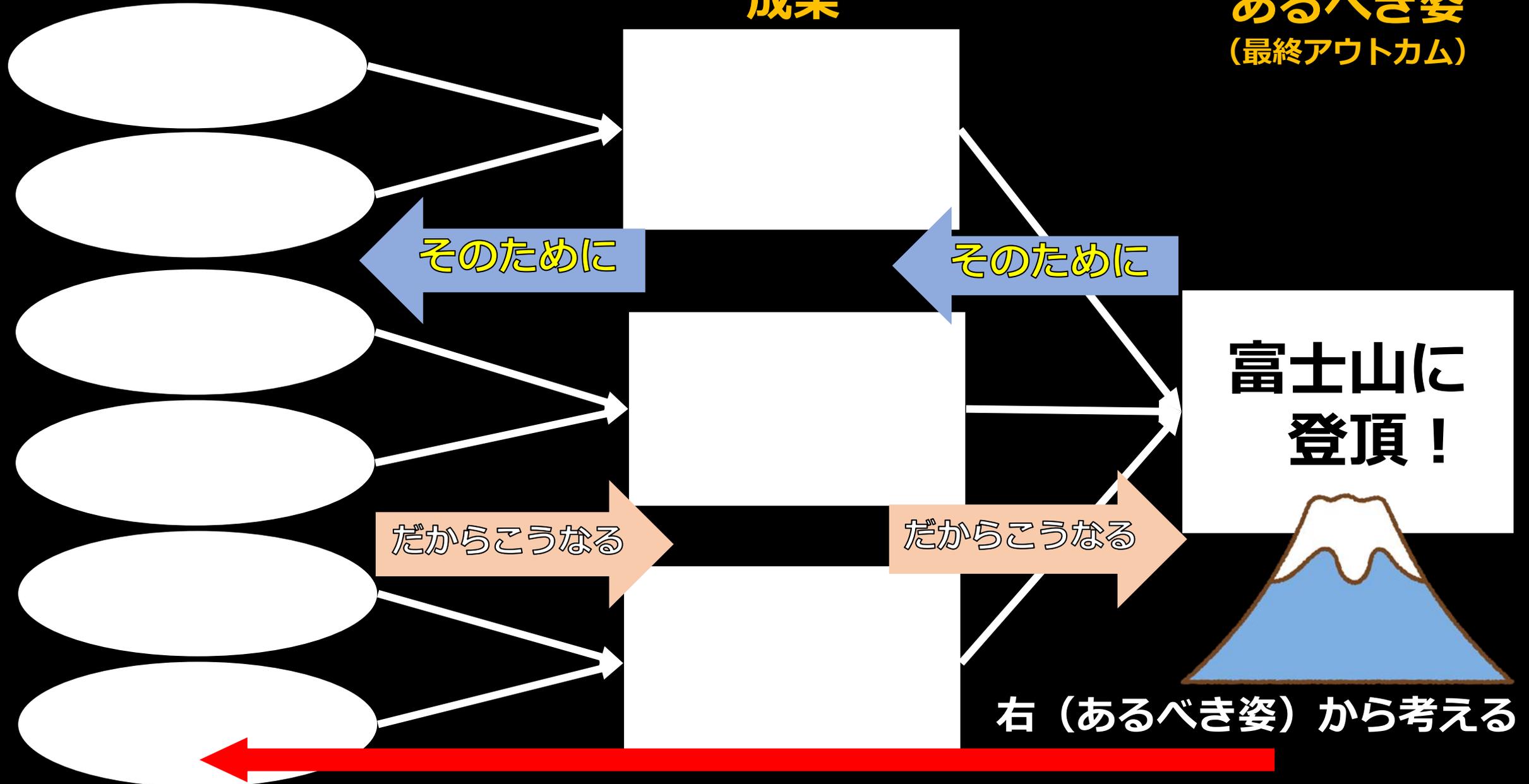


「最上位のアウトカム達成」のための流れをつくる必要がある！

ヒト・モノ・コト (アクティビティ)

期待される 成果

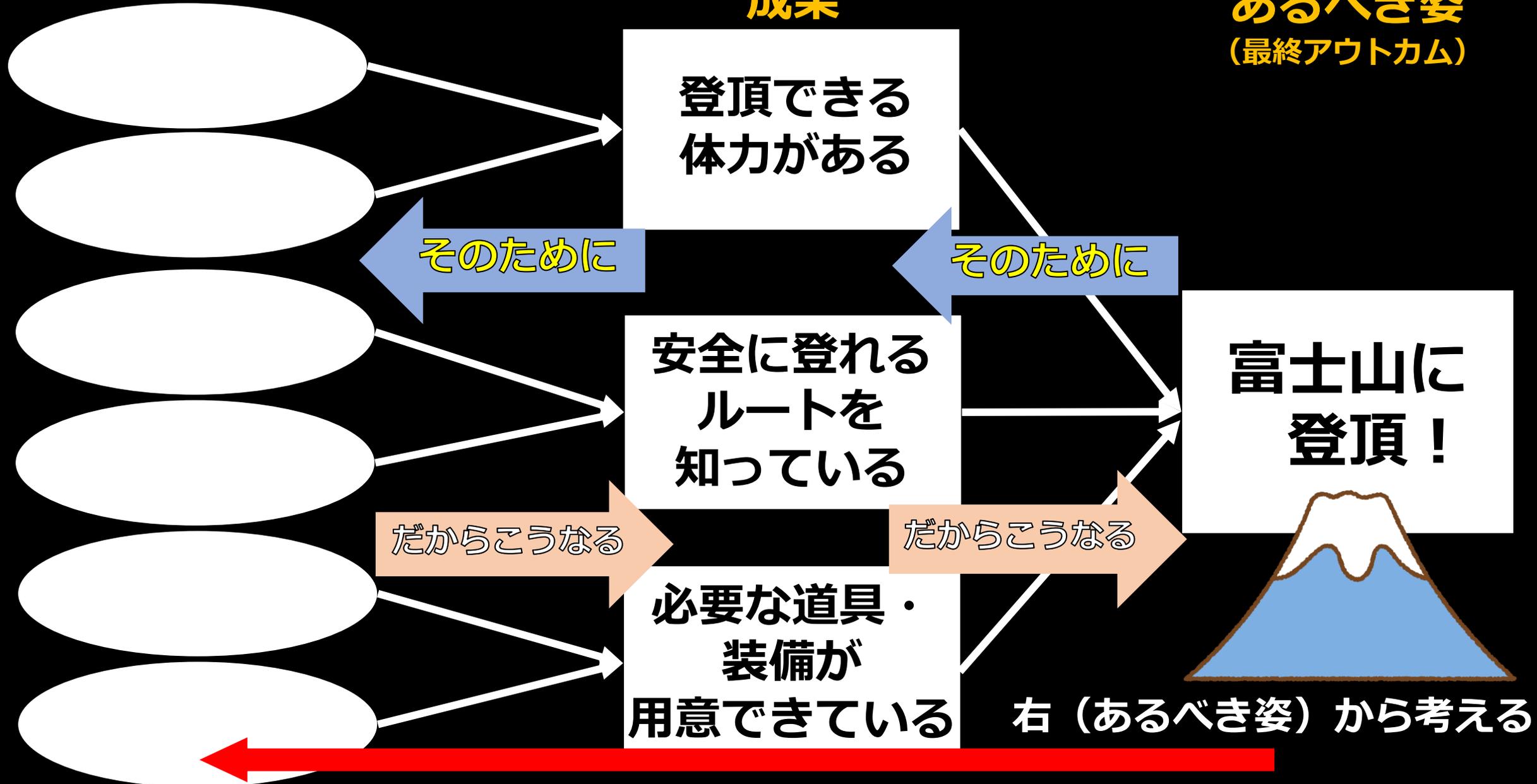
最終的な成果 あるべき姿 (最終アウトカム)



ヒト・モノ・コト (アクティビティ)

期待される 成果

最終的な成果 あるべき姿 (最終アウトカム)



ヒト・モノ・コト (アクティビティ)

期待される 成果

最終的な成果 あるべき姿 (最終アウトカム)

毎日職場まで歩く。
休みの日は1時間歩く。

まずは函館山を
登山してみる。

富士山登山を紹介
しているHPを見る。

専門誌を購入し、
情報収集する。

専門誌で、必要な道具・
装備を確認する。

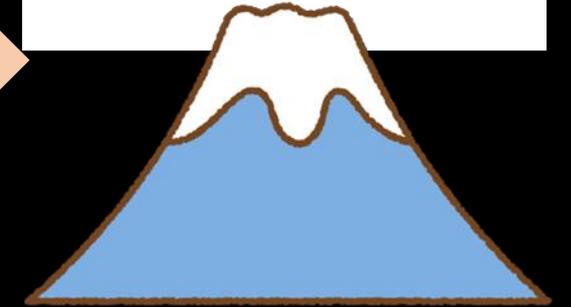
アウトドアショップ
に行って、購入する。

登頂できる
体力がある

安全に登れる
ルートを知っている

必要な道具・
装備が
用意できている

富士山に
登頂！



そのために

そのために

だからこうなる

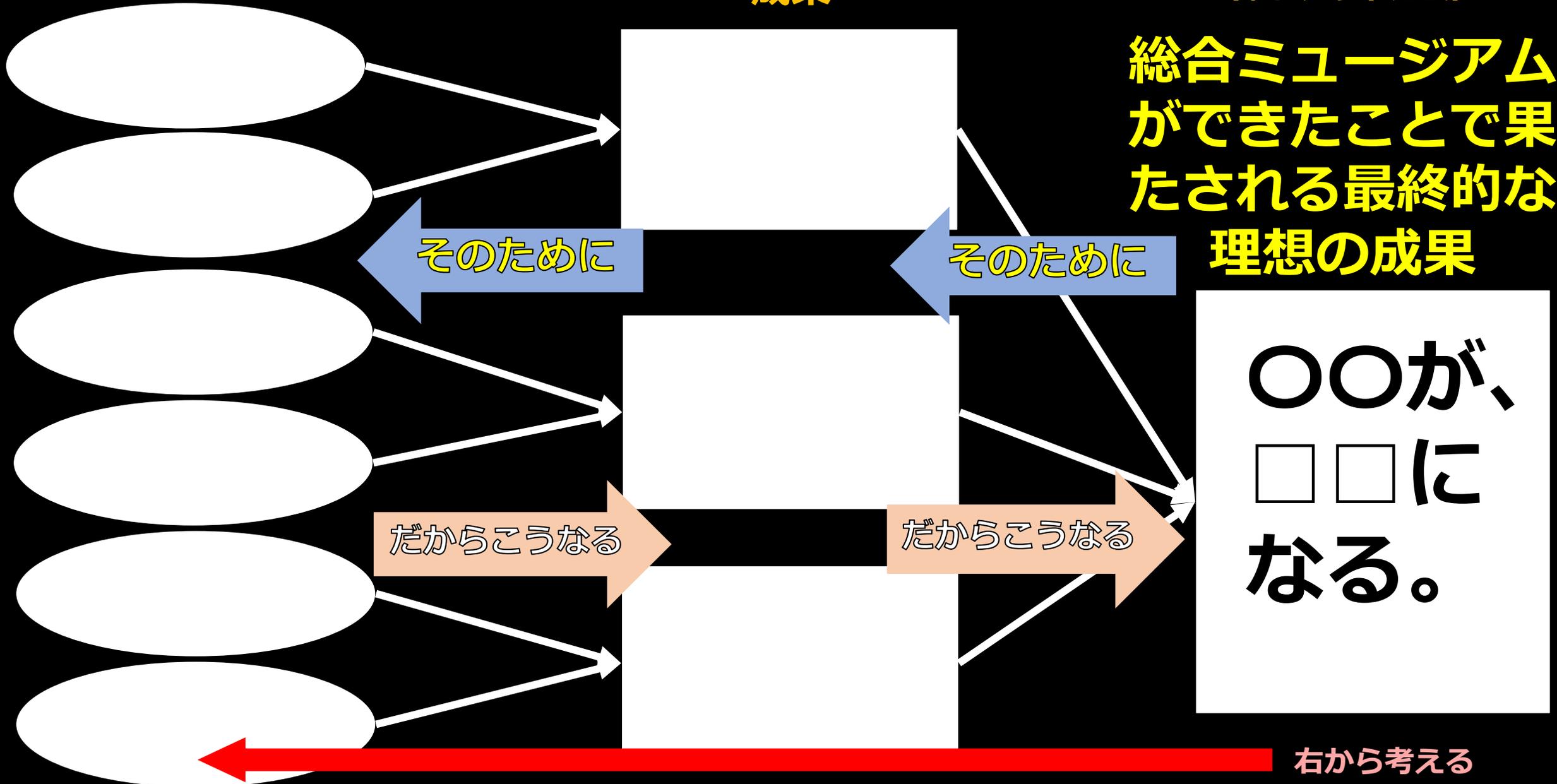
だからこうなる

右(あるべき姿)から考える

ヒト・モノ・コト (アクティビティ)

期待される 成果

最終的な成果 (最終アウトカム)



総合ミュージアム
ができたことで果
たされる最終的な
理想の成果

〇〇が、
□□に
なる。

右から考える

ヒト・モノ・コト

(アクティビティ)

~をする

期待される成果

(中間アウトカム)

~こうなっている

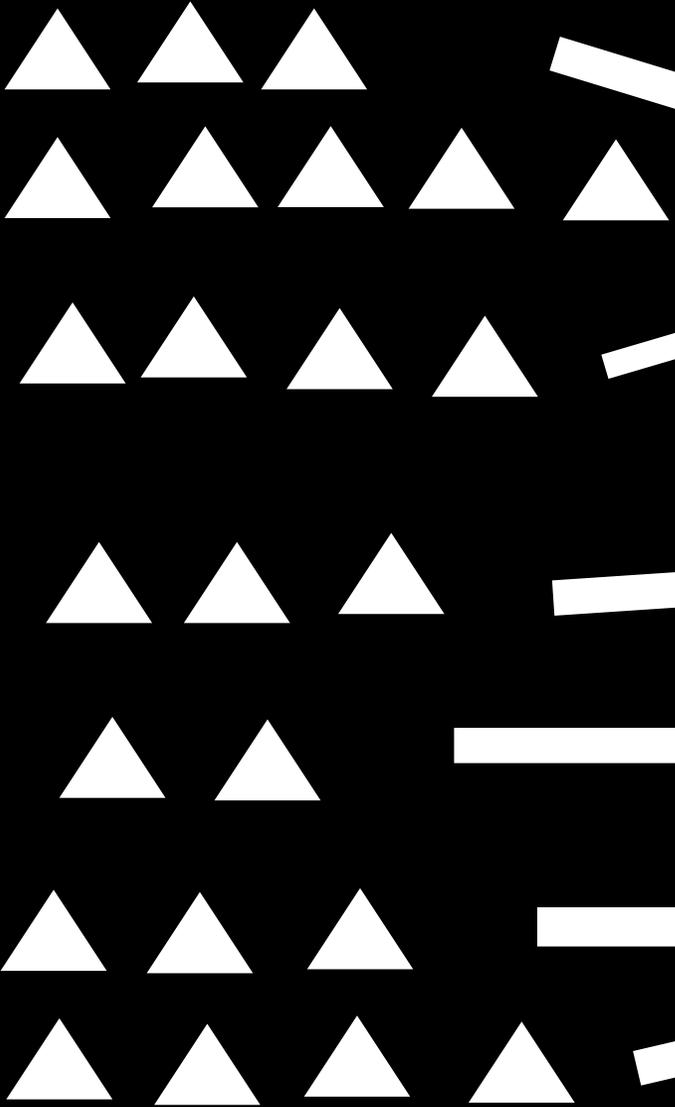
最終ゴール

あるべき姿

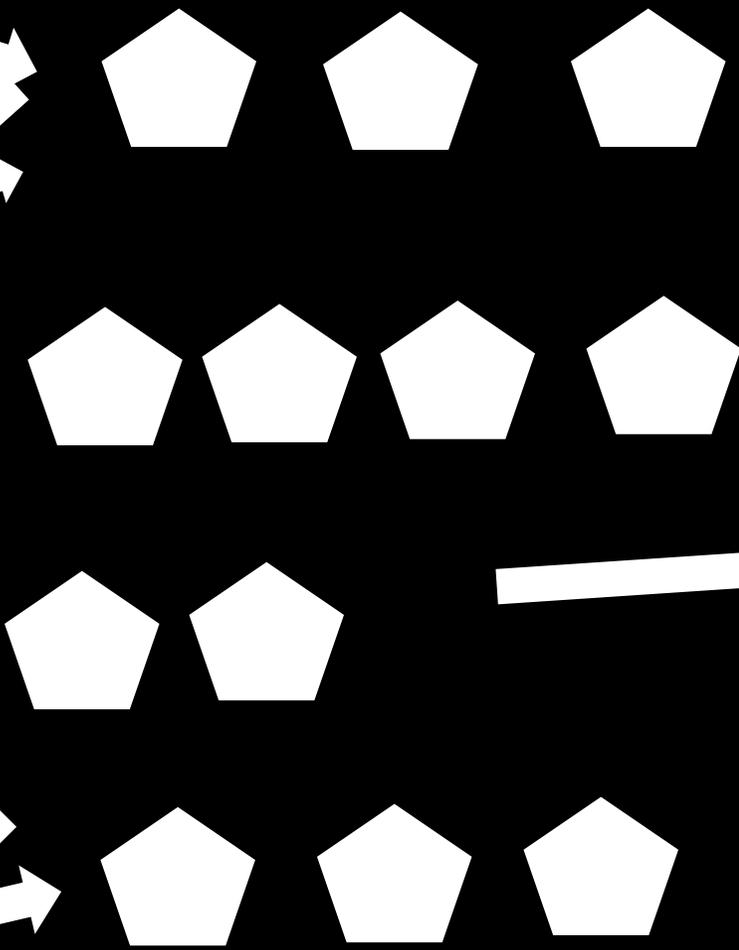
(最終アウトカム)

こうなる

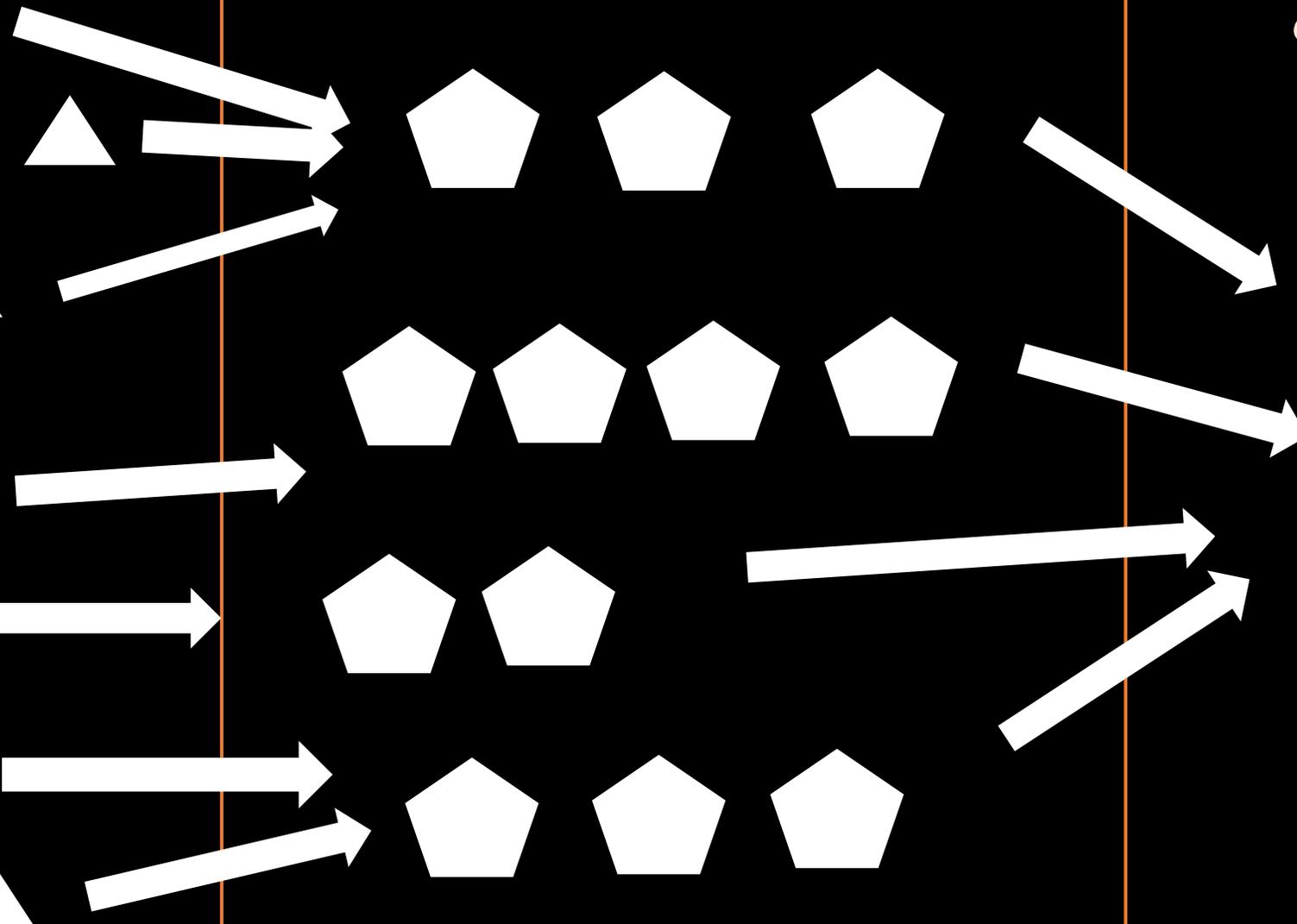
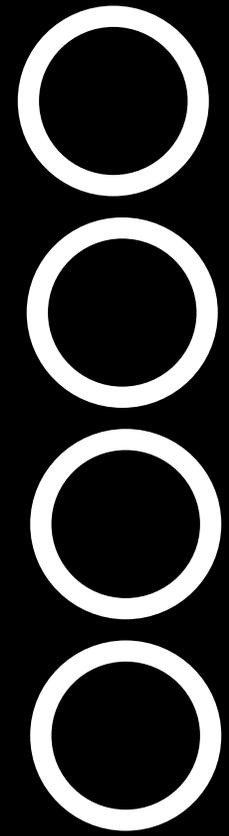
ヒト・モノ・コト
(アクティビティ)
~をする



期待される成果
(中間アウトカム)
~こうなっている



最終ゴール
あるべき姿
(最終アウトカム)
こうなる



ヒト・モノ・コト
(アクティビティ)
~をする

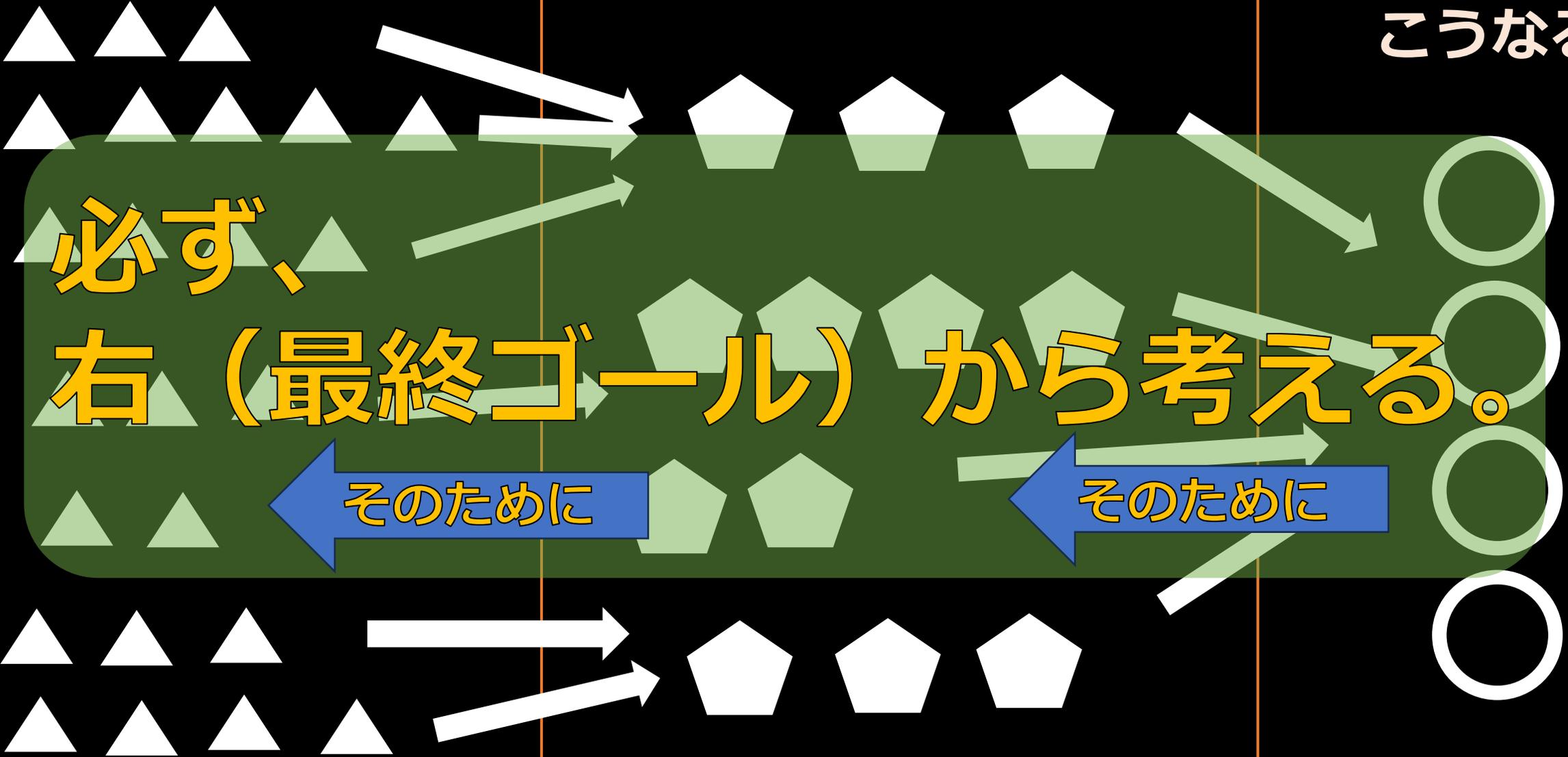
期待される成果
(中間アウトカム)
~こうなっている

最終ゴール
あるべき姿
(最終アウトカム)
こうなる

必ず、
右 (最終ゴール) から考える。

そのために

そのために



現状	課題	インパクト	アソシエイト の取組内容	アウトプット 主要の成果	アウトカム 期待効果	インパクト 期待効果
<p>【近所のつながり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進んでおり、支えあいが難しくなっている <p>【相談相手】【高齢者支援】【虐待】</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談相手がいなくて困る 虐待をみつけれられるようにする <p>【支える人】【ボランティア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティアの参加者、支える人が少ない(特に男性) 若い人、自宅にいるはずだが、社会参加が少ない 地域ごとに助け合いのまわりがない 参加したいが、活動できる場がない 若い人の活動参加のきっかけが少ない 参加が必要。 	<p>【近所のつながり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域活動の活性化を促す <p>【相談相手】【高齢者支援】【虐待】</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談相手がいなくて困る 虐待をみつけれられるようにする <p>【支える人】【ボランティア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティアを増やす 取り組める活動を増やす 若い世代の参加を増やす 多世代の交流の場を増やす <p>【健康不安】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食事量、質が適正になる 運動不足が解消される <p>【移動】【ゴミ出し】</p> <ul style="list-style-type: none"> 移動、ゴミ出しに困っている人を減らす <p>【買い物】</p> <ul style="list-style-type: none"> 買い物に不自由をなくす <p>【除害】</p> <ul style="list-style-type: none"> 少しでも楽に除害ができるようにする 	<p>地域住民</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な声かけ 新しいイベントの企画 ボランティアチーム等での声かけ 声の合う仲間を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども含む多世代への声かけ 相談相手がいなくて困る 1か月に1回程度イベントの開催 	<p>【近所のつながり】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの場が増える 人とのつながりが強くなる 活動の場が増える 近隣での支えあい活動が生まれる <p>【相談相手】【高齢者支援】【虐待】</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談相手の相談相手が増える 人に迷惑をかけたくないという気持ちが増える 被害被害者が減る <p>【支える人】【ボランティア】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今まで参加しなかった人たちがサロンに参加する 今までハードルが高くて参加できなかった人も参加できるようになる 多世代で交流できる 学生等若い人の参加が増える 相談しやすくなる声かけがわかる ボランティア活動にやりがいを持って ボランティア活動を理解できるようになる 自分の特技をアピールする場が増える 町内会を知る人が増える 	<p>わかりやすく情報が提供され、みんなが得意なことを出し合って在宅での生活を支えあいながら続けられる</p>
<p>【健康不安】</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神的不安が大きく、外に出ることが減る 栄養が不足している人がいる コロナの活動制限もあり、運動量が低下している人が増加 	<p>【健康不安】</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神的不安が大きく、外に出ることが減る 栄養が不足している人がいる コロナの活動制限もあり、運動量が低下している人が増加 	<p>サロン</p>	<ul style="list-style-type: none"> サロンの企画をする交流会を年に2回 休日も開催しているサロンが増える お花見の時期など季節に合わせて少人数サロンを開催 サロンの半数以上がライスパワー体験を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 多世代交流イベントを夏休みに1回開催 ボランティア活動案内を町内会会報に年3回入れる 夏祭り、盆祭り、焼肉などの季節行事の開催 見守りを兼ねたお弁当等の配布を月2回実施 1回以上ライスパワー体験を実施 	<p>【健康不安】</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養バランスを考えた食事をとれる人が増える ライスパワー体験に取り組み人が増える 外を歩く人が増える 	<p>【注1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地域の活動に参加していない方」の割合減少 「健康づくり活動等に参加してみたい方」の割合増加
<p>【移動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区によっては、高齢者の買い物等の移動手段がない サロンへの交通手段がない方がいる 免許返納後、移動手段に困る 	<p>【健康不安】</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神的不安が大きく、外に出ることが減る 栄養が不足している人がいる コロナの活動制限もあり、運動量が低下している人が増加 	<p>町内会</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公園で子どもも交えた多世代交流イベントの開催 ボランティア活動の案内をする 見守りを兼ねたお弁当等の配布 お祭り等楽しい企画で、若い世代との交流 ライスパワー体験を実施 買い物ボランティアの仕組みづくり 空地への除害を依頼 虐待に関するチラシの配布 高齢者支援に関するチラシを配布 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物ボランティアの仕組みづくり 虐待に関するチラシを1年に1回全戸配布 	<p>【健康不安】</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養バランスを考えた食事をとれる人が増える ライスパワー体験に取り組み人が増える 外を歩く人が増える 	<p>【注1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア参加者数増加 サロン数増加 通いの場増加
<p>【買い物】</p> <ul style="list-style-type: none"> お店に無料で休店できる場所や、ベンチが少ない 	<p>【健康不安】</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神的不安が大きく、外に出ることが減る 栄養が不足している人がいる コロナの活動制限もあり、運動量が低下している人が増加 	<p>商店街等</p>	<ul style="list-style-type: none"> イベントの開催 ベンチなど休憩場所の設置 スーパーの配達、移動販売の周知・見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物ボランティアの仕組みづくり 虐待に関するチラシを1年に1回全戸配布 	<p>【健康不安】</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養バランスを考えた食事をとれる人が増える ライスパワー体験に取り組み人が増える 外を歩く人が増える 	<p>【注2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア参加者数増加 サロン数増加 通いの場増加
<p>【除害】</p> <ul style="list-style-type: none"> 除害が多量な高齢者宅の問題が、なかなか解決しない 業者紹介の相談窓口がない、周知不足 中高生のボランティアグループがない 有償ボランティアのグループ、マッチングの窓口がない 	<p>【健康不安】</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神的不安が大きく、外に出ることが減る 栄養が不足している人がいる コロナの活動制限もあり、運動量が低下している人が増加 	<p>生活支援 コーポレート ボランティア</p>	<ul style="list-style-type: none"> 買い物支援の検討 虐待に関する周知チラシを作成 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物ボランティアの仕組みづくり 虐待に関するチラシを1年に1回全戸配布 	<p>【健康不安】</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養バランスを考えた食事をとれる人が増える ライスパワー体験に取り組み人が増える 外を歩く人が増える 	<p>【注3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア参加者数増加 サロン数増加 通いの場増加
<p>【ゴミ出し】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自宅からゴミ捨て場まで遠い ゴミ出し(分別含む)についての知識が不足している 生ごみの処理が困る ゴミ収集業者が少ない、財政状況が厳しい 	<p>【健康不安】</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神的不安が大きく、外に出ることが減る 栄養が不足している人がいる コロナの活動制限もあり、運動量が低下している人が増加 	<p>市役所</p>	<ul style="list-style-type: none"> 取り組みやすいボランティアセンターの拡充・周知 除害の相談窓口、ボランティアを周知 分別の方法について周知強化 ゴミ出し支援の拡充(周知・支援)の検討 支える側の準備を機会企画 都市町村のゴミ出しについて学ぶ 除害の費用削減のための公開 生ごみの処理場の敷地の検討 虐待に関する相談の相談強化 少人数サロン補助の仕組みづくり 好ま・得意なことを生かしてマッチングする仕組みづくり 一緒に外出できる仕組みづくり 子どもが遊びやすい公園の設置検討 時代に合った民生委員の働き方の提案 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物ボランティアの仕組みづくり 虐待に関するチラシを1年に1回全戸配布 	<p>【健康不安】</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養バランスを考えた食事をとれる人が増える ライスパワー体験に取り組み人が増える 外を歩く人が増える 	<p>【注4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア参加者数増加 サロン数増加 通いの場増加
<p>【ゴミ出し】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自宅からゴミ捨て場まで遠い ゴミ出し(分別含む)についての知識が不足している 生ごみの処理が困る ゴミ収集業者が少ない、財政状況が厳しい 	<p>【健康不安】</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神的不安が大きく、外に出ることが減る 栄養が不足している人がいる コロナの活動制限もあり、運動量が低下している人が増加 	<p>市役所</p>	<ul style="list-style-type: none"> 取り組みやすいボランティアセンターの拡充・周知 除害の相談窓口、ボランティアを周知 分別の方法について周知強化 ゴミ出し支援の拡充(周知・支援)の検討 支える側の準備を機会企画 都市町村のゴミ出しについて学ぶ 除害の費用削減のための公開 生ごみの処理場の敷地の検討 虐待に関する相談の相談強化 少人数サロン補助の仕組みづくり 好ま・得意なことを生かしてマッチングする仕組みづくり 一緒に外出できる仕組みづくり 子どもが遊びやすい公園の設置検討 時代に合った民生委員の働き方の提案 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物ボランティアの仕組みづくり 虐待に関するチラシを1年に1回全戸配布 	<p>【健康不安】</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養バランスを考えた食事をとれる人が増える ライスパワー体験に取り組み人が増える 外を歩く人が増える 	<p>【注5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア参加者数増加 サロン数増加 通いの場増加

注釈
 ※1 介護予防・日常生活支援総合事業調査
 ※2 市事業計画
 ※3 フレイルチェック
 ※4 在宅介護実態調査
 ※5 生活支援協議会によるニーズ調査、買い物調査

アウトカム指標 = 成果を測るための物差し

農業体験に参加した子どもの数



→アウトプット評価

給食で野菜を残す割合が0%まで減った

→アウトカム指標

**最終アウトカムも、アウトカム指標も、
協働でつくりあげていく。**

最終アウトカムを、ピント外れにしないために

1. 思い込みや先入観ではなく、データから。

(市町村のホームページ、RESAS、国勢調査、要覧、白書など)

2. マーケティング (数える+比べる+聞く+探す)

3. 歴史や文化・生活を知る (まち歩き)

4. 誰かになってみる (私が、□□だったら・・・)

☆これから起こりそうなことはなに？

☆「足りないもの」はなに？

(どんなこと？ 数は？ どうなるの？)

☆残しておきたいものと、
変えなきゃいけないことはなに？

その根本原因は？

与件と課題は？

解決策は？

函館市のこれから



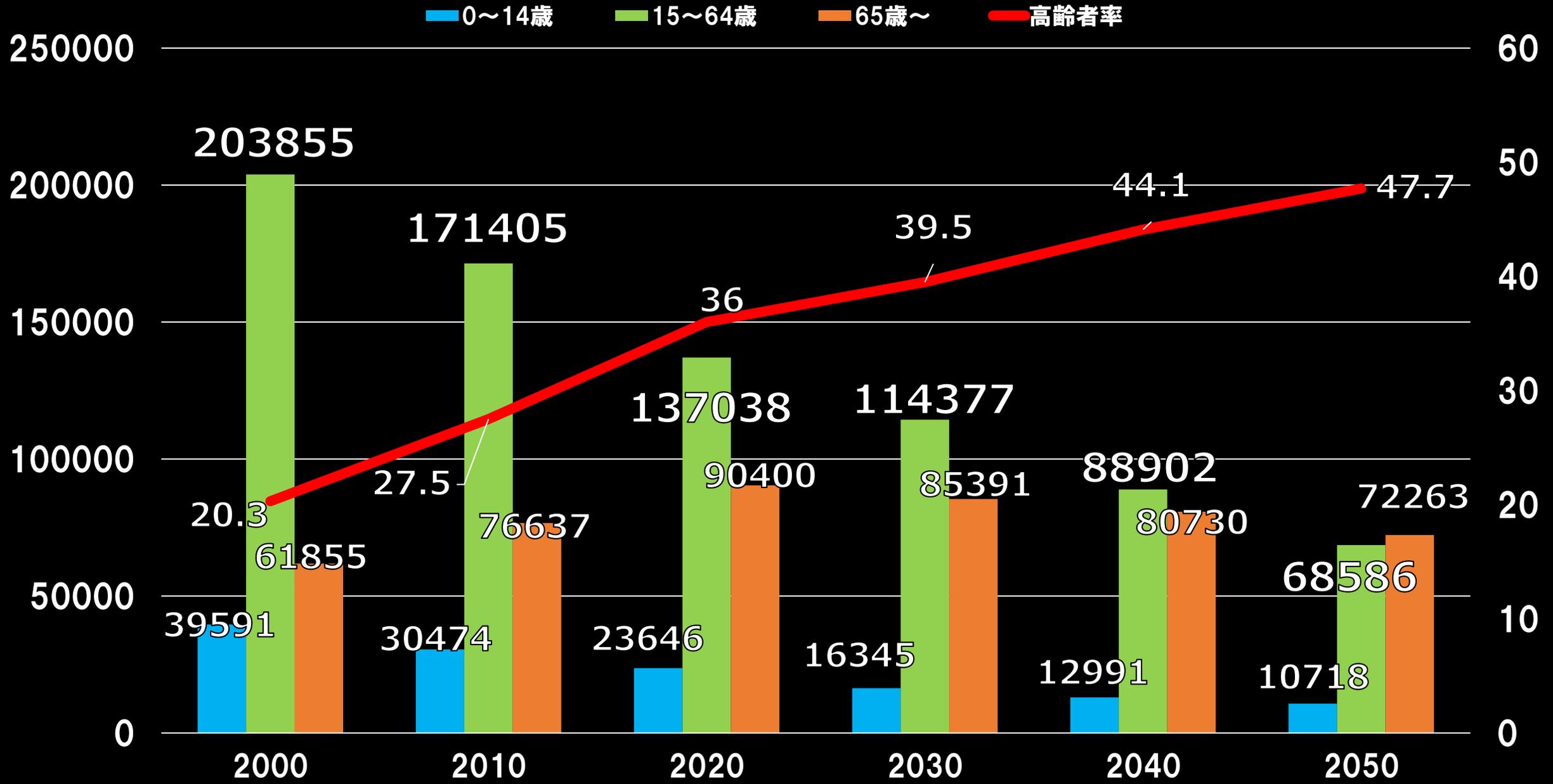
	2000	2010	2020	2030	2040	2050
計 (2000年比)	305,311	279,127 ▲9%	251,108 ▲18%	216,113 ▲29%	182,713 ▲40%	151,567 ▲50%
0～14歳 (2000年比)	39,591	30,474 ▲23%	23,646 ▲40%	16,345 ▲59%	12,991 ▲67%	10,718 ▲73%
15～64歳 (A) (2000年比)	203,855	171,405 ▲16%	137,038 ▲33%	114,377 ▲44%	88,992 ▲56%	68,586 ▲66%
65歳～ (2000年比) 高齢者率	61,855 20.3%	76,637 +24% 27.5%	90,400 +46% 36.0%	85,391 +38% 39.5%	80,730 +31% 44.1%	72,263 +16% 47.7%
A÷B	8.2人	4.5人	2.9人	2.1人	1.8人	1.5人
75歳～(B) (2000年比) 後期高齢者率	24,874 8%	38,247 +54% 13.7%	46,613 +87% 18.6%	54,192 +117% 25.0%	48,392 +95% 26.5%	46,059 +85% 30.4%

2020年の函館市が100人のマチだったら？

	2000年	2010年	2020年	2030年	2040年
計	122	111	100	82	65
0-14歳	16	12	9	7	5
15-64歳	81	68	54	43	32
65歳以上	25	31	36	31	28
65-74歳	15	15	17	12	12
75歳以上	10	15	18	19	16
85歳以上	2	4	6	6	7
一般世帯数	53	52	51	43	35
1世帯あたり	2.30	2.14	1.98	1.91	1.88
単独世帯	17	19	21	19	16
平均年齢(概算)	43	48	51	54	55



函館市はこれからこうなる！



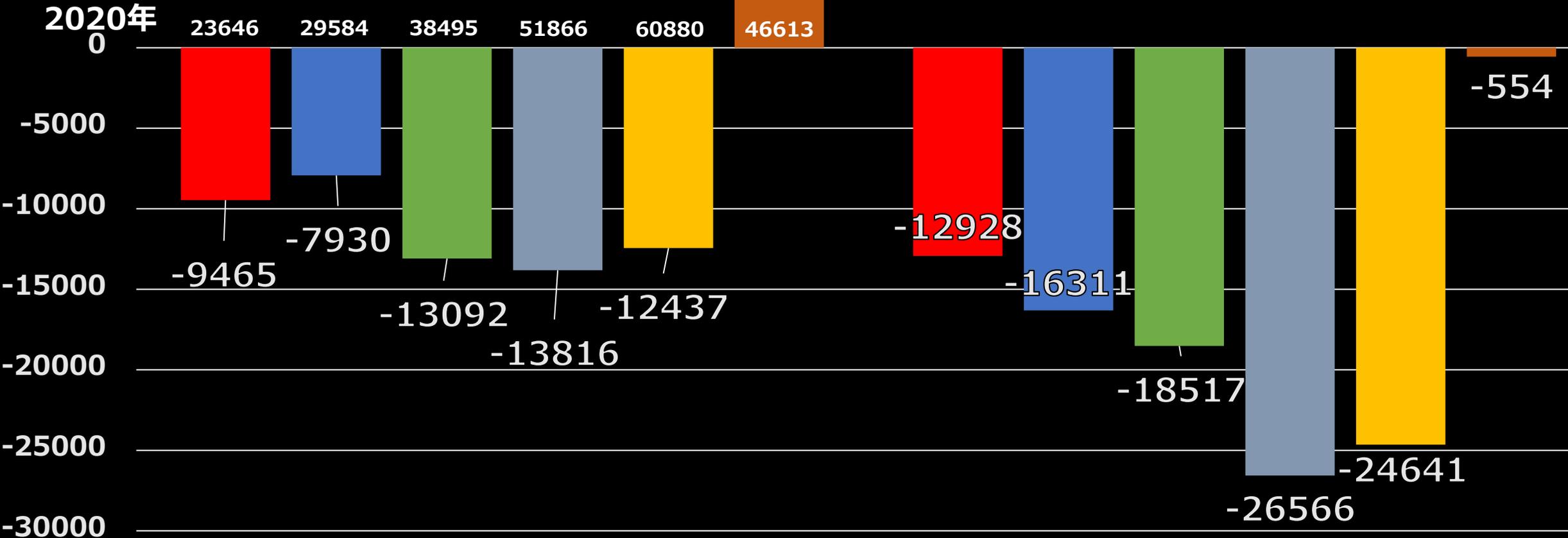


函館市の年齢別人口変化mada

■ 0~14歳 ■ 15~29歳 ■ 30~44歳 ■ 45~59歳 ■ 60~74歳 ■ 75歳以上

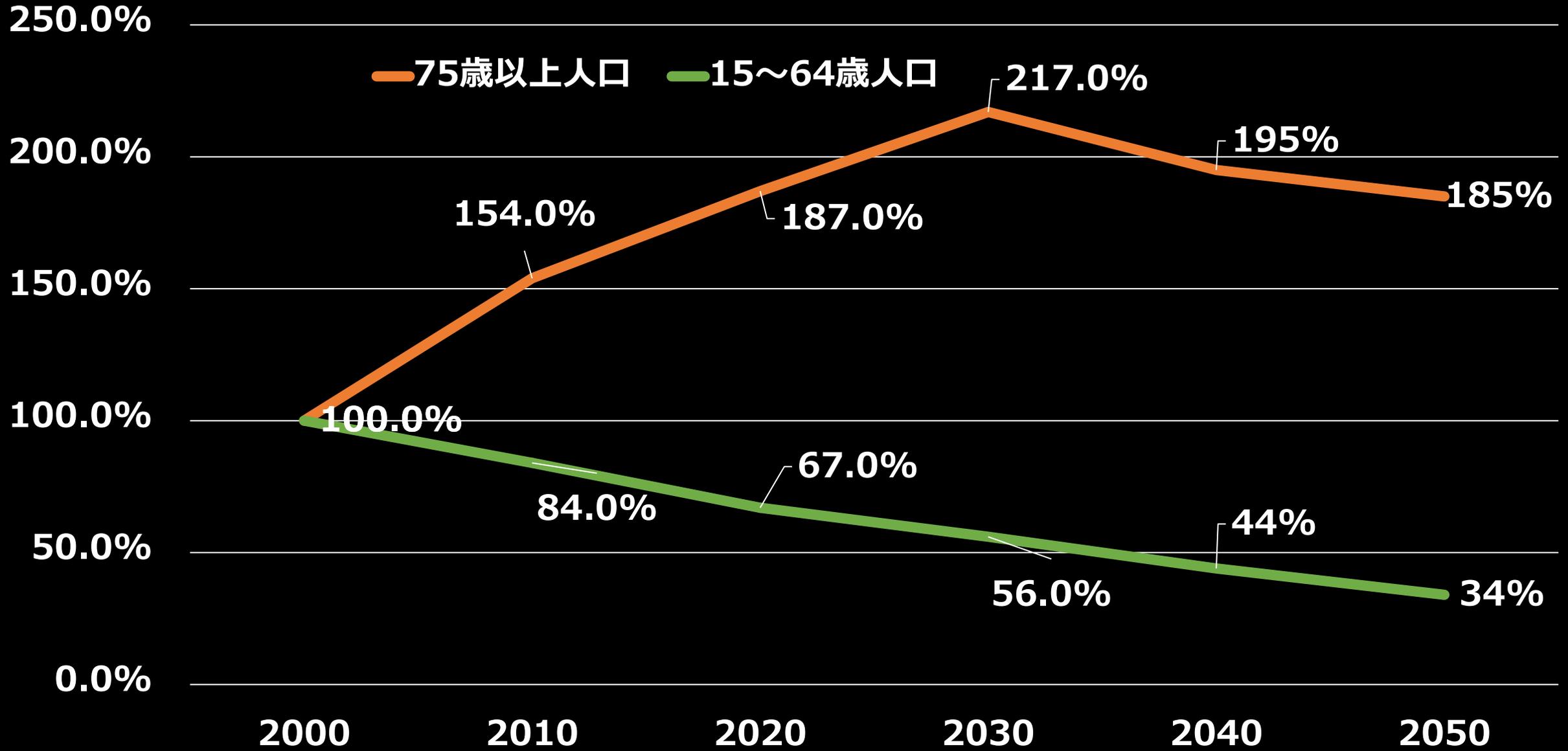
10000
5000
2020年→2035年 **2020年→2050年**

2020年
0





函館市の人口推移



5年後「残存率」	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49
男 95年→00年	96.6%	99.7%	97.9%	72.6%	95.0%	97.5%	96.3%	97.5%	96.7%	95.4%
男 00年→05年	100.4%	101.3%	101.6%	76.6%	94.6%	95.8%	96.7%	97.8%	95.8%	96.0%
男 05年→10年	99.1%	99.8%	101.3%	75.6%	86.9%	94.1%	96.2%	97.0%	96.8%	97.3%
男 10年→15年	98.7%	100.1%	101.6%	79.0%	89.3%	96.3%	99.2%	98.7%	98.9%	99.0%
男 15年→20年	97.5%	100.1%	100.1%	80.9%	92.1%	93.3%	98.7%	98.7%	99.8%	98.0%
男 25年間 平均	98.5%	100.2%	100.5%	76.9%	91.6%	95.4%	97.4%	97.9%	97.6%	97.1%
女 95年→00年	97.2%	96.8%	100.5%	80.9%	91.5%	95.0%	96.3%	97.7%	96.4%	96.7%
女 00年→05年	96.7%	98.6%	101.9%	82.4%	92.1%	94.4%	97.0%	97.1%	96.6%	97.7%
女 05年→10年	97.9%	98.1%	99.9%	82.0%	89.7%	94.7%	97.8%	97.5%	96.9%	98.8%
女 10年→15年	99.2%	98.5%	101.1%	84.5%	90.7%	98.1%	99.2%	98.9%	98.3%	99.5%
女 15年→20年	98.0%	98.4%	98.6%	81.5%	90.0%	92.9%	98.4%	98.4%	98.7%	97.9%
女 25年間 平均	97.8%	98.1%	100.4%	82.3%	90.8%	95.0%	97.7%	97.9%	97.4%	98.1%
5年後「残存率」	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94	95-99
男 95年→00年	95.0%	97.2%	93.0%	86.8%	79.6%	69.4%	54.6%	36.2%	26.2%	10.3%
男 00年→05年	96.1%	97.5%	95.2%	89.6%	84.0%	72.2%	60.3%	38.6%	26.9%	12.9%
男 05年→10年	96.5%	95.1%	93.1%	88.6%	82.4%	71.6%	59.8%	42.0%	27.5%	14.3%
男 10年→15年	96.8%	97.0%	95.2%	89.5%	84.1%	75.3%	59.7%	43.1%	26.1%	16.3%
男 15年→20年	97.6%	97.1%	95.0%	90.6%	84.7%	76.1%	63.2%	44.3%	26.7%	12.7%
男 25年間 平均	96.4%	96.8%	94.3%	89.0%	83.0%	72.9%	59.5%	40.8%	26.7%	13.3%
女 95年→00年	97.2%	99.0%	96.3%	94.4%	89.5%	79.6%	68.0%	48.9%	34.8%	18.8%
女 00年→05年	98.1%	98.7%	97.1%	95.2%	91.5%	85.2%	74.8%	56.0%	38.1%	21.7%
女 05年→10年	98.3%	98.1%	96.3%	94.9%	91.4%	85.8%	73.6%	54.8%	36.9%	18.5%
女 10年→15年	99.0%	98.8%	97.8%	95.4%	93.3%	87.2%	76.2%	59.4%	36.2%	22.4%
女 15年→20年	98.1%	96.8%	96.1%	94.9%	92.4%	87.5%	77.2%	60.2%	37.1%	22.7%
女 25年間 平均	98.1%	98.3%	96.7%	95.0%	91.6%	85.1%	74.0%	55.9%	36.6%	20.8%

全国との差 5年後	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49
男 95年→00年	-3.9%	-0.4%	-2.3%	-25.7%	-3.5%	-2.1%	-3.3%	-2.0%	-1.9%	-2.4%
男 00年→05年	-0.0%	+1.4%	+1.0%	-21.3%	-2.9%	-3.6%	-2.5%	-1.4%	-2.8%	-2.1%
男 05年→10年	-1.1%	-0.1%	+0.3%	-21.2%	-11.4%	-6.4%	-4.1%	-2.9%	-2.2%	-1.2%
男 10年→15年	-1.4%	-0.2%	-0.1%	-19.0%	-10.4%	-3.5%	-0.4%	-0.6%	-0.1%	+0.5%
男 15年→20年	-4.6%	-0.9%	-0.3%	-16.9%	-8.8%	-8.0%	-1.6%	-1.0%	+0.8%	-0.3%
男 25年間 平均	-2.2%	-0.0%	-0.3%	-20.8%	-7.4%	-4.7%	-2.4%	-1.6%	-1.2%	-1.1%
女 95年→00年	-3.2%	-3.3%	+0.5%	-17.7%	-7.9%	-5.1%	-3.8%	-2.3%	-2.9%	-2.2%
女 00年→05年	-3.6%	-1.2%	+1.9%	-16.0%	-7.1%	-5.5%	-2.8%	-2.8%	-2.9%	-1.5%
女 05年→10年	-2.1%	-1.8%	-0.8%	-16.9%	-10.5%	-6.2%	-2.5%	-2.7%	-2.8%	-0.6%
女 10年→15年	-0.8%	-1.7%	-0.1%	-14.4%	-9.1%	-2.1%	-0.6%	-0.7%	-1.0%	+0.6%
女 15年→20年	-3.8%	-2.4%	-1.6%	-18.2%	-11.3%	-8.2%	-1.8%	-1.4%	-0.7%	-1.0%
女 25年間 平均	-2.7%	-2.1%	-0.0%	-16.6%	-9.2%	-5.4%	-2.3%	-2.0%	-2.1%	-0.9%
5年後「残存率」	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94	95-99
男 95年→00年	-2.0%	+1.2%	+0.0%	-2.2%	-4.1%	-3.3%	-3.3%			
男 00年→05年	-1.4%	+0.7%	+0.6%	-0.9%	-0.5%	-3.0%	-0.4%	-5.5%	-0.8%	-1.4%
男 05年→10年	-1.3%	-1.8%	-1.3%	-2.4%	-2.6%	-3.4%	-1.0%	-1.6%	+1.0%	+0.8%
男 10年→15年	-1.1%	+0.2%	+0.5%	-1.9%	-2.3%	-1.9%	-2.7%	-1.7%	-0.1%	+1.9%
男 15年→20年	+0.2%	+0.8%	+0.8%	-0.6%	-1.6%	-2.7%	-2.2%	-2.2%	-1.0%	-0.9%
男 25年間 平均	-1.1%	+0.2%	+0.1%	-1.6%	-2.2%	-2.8%	-1.9%	-2.8%	-0.2%	+0.1%
女 95年→00年	-1.6%	+0.5%	-0.7%	-0.7%	-2.2%	-4.2%	-3.5%			
女 00年→05年	-0.8%	-0.1%	-0.4%	-0.8%	-1.6%	-1.5%	-1.3%	-3.7%	-2.2%	-0.0%
女 05年→10年	-0.9%	-0.7%	-1.3%	-1.2%	-2.0%	-2.1%	-3.5%	-5.4%	-1.3%	-2.6%
女 10年→15年	+0.2%	+0.5%	+0.4%	-0.6%	-0.0%	-1.1%	-1.8%	-0.8%	-1.7%	+1.8%
女 15年→20年	-0.4%	-1.1%	-0.7%	-0.6%	-0.9%	-1.4%	-2.6%	-2.3%	-2.4%	+2.8%
女 25年間 平均	-0.7%	-0.2%	-0.5%	-0.8%	-1.3%	-2.1%	-2.5%	-3.0%	-1.9%	+0.5%

A	1995年		2000年		2005年		2010年		2015年	
七飯町										
全国との差 5年後「残存」	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49
男 95年→00年	+13.1%	+9.9%	-13.7%	-36.1%	+16.0%	+22.0%	+15.2%	+6.5%	+3.1%	+7.5%
男 00年→05年	+9.4%	+4.1%	-15.4%	-42.0%	+9.0%	+16.5%	+7.8%	+4.6%	-1.7%	+0.7%
男 05年→10年	+10.0%	+8.4%	-14.6%	-37.9%	+13.7%	+10.9%	+6.0%	+2.9%	-0.2%	+6.2%
男 10年→15年	+18.5%	+7.2%	-19.2%	-39.2%	+13.8%	+14.8%	+17.5%	+5.2%	+4.2%	+1.4%
男 20年間 平均	+12.8%	+7.4%	-15.7%	-38.8%	+13.1%	+16.1%	+11.6%	+4.8%	+1.4%	+3.9%
女 95年→00年	+23.4%	+6.6%	-4.1%	-18.4%	+5.0%	+13.4%	+10.7%	+5.6%	+6.0%	+5.7%
女 00年→05年	+13.9%	+2.6%	-11.4%	-26.2%	-3.2%	+5.4%	+11.8%	+3.0%	+1.4%	+2.3%
女 05年→10年	+14.6%	+2.4%	-13.4%	-27.8%	-0.2%	+4.7%	+4.7%	+1.4%	+0.7%	+0.8%
女 10年→15年	+18.6%	+3.9%	-12.3%	-29.7%	+1.4%	+5.1%	+16.2%	+6.3%	+1.7%	-1.7%
女 20年間 平均	+17.6%	+3.9%	-10.3%	-25.5%	+0.7%	+7.2%	+10.8%	+4.1%	+2.4%	+1.8%
5年後「残存率」	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94	95-99
男 95年→00年	+8.6%	+17.9%	+6.7%	-1.0%	-0.3%	-2.0%	+7.6%			
男 00年→05年	+3.5%	+10.0%	+3.6%	+0.8%	+1.6%	-2.4%	-1.3%	+7.9%	-5.8%	-4.3%
男 05年→10年	+2.7%	+10.9%	+2.9%	+3.0%	+1.5%	+0.0%	+5.8%	+10.7%	-1.5%	+19.8%
男 10年→15年	+0.5%	+6.3%	+5.6%	+2.4%	-0.3%	+1.0%	-0.9%	+5.2%	-1.2%	-8.1%
男 20年間 平均	+3.9%	+11.3%	+4.7%	+1.3%	+0.6%	-0.8%	+2.8%	+7.3%	+2.6%	+1.9%
女 95年→00年	+13.4%	+7.5%	+3.3%	+0.6%	+3.5%	+4.5%	+7.4%			
女 00年→05年	+4.2%	+7.6%	-0.2%	-0.5%	+2.0%	+4.9%	+10.9%	+5.1%	+5.7%	-17.4%
女 05年→10年	+4.9%	+5.8%	+2.8%	+2.1%	+2.7%	+10.2%	+9.9%	+7.5%	+8.1%	+0.7%
女 10年→15年	+1.1%	+3.7%	+1.8%	+1.9%	+2.1%	+5.2%	+1.8%	+4.0%	-2.9%	+4.6%
女 20年間 平均	+5.9%	+6.1%	+1.9%	+1.1%	+2.6%	+6.2%	+7.5%	+2.7%	+3.3%	-4.1%

2010年→2020年の30-40歳代の「残存率」(全国平均 -1.9%)

+46.1%	大鹿村	+9.2%	大阪市天王寺区	+6.4%	江北町	+4.7%	新地町	+3.7%	木城町
+39.1%	十島村	+9.2%	宜野座村	+6.3%	北川村	+4.6%	川場村	+3.7%	八潮市
+38.6%	知夫村	+9.2%	一宮町	+6.2%	三郷市	+4.5%	亘理町	+3.6%	香美市
+32.6%	千代田区	+9.2%	西興部村	+6.2%	日之影町	+4.5%	御代田町	+3.6%	千葉市緑区
+28.6%	新宮町	+9.1%	原村	+6.1%	朝日町	+4.5%	総社市	+3.6%	三川町
+27.5%	早川町	+9.1%	日高町	+6.0%	山中湖村	+4.5%	山形村	+3.6%	日の出町
+23.0%	福津市	+8.9%	合志市	+6.0%	さいたま市西区	+4.5%	那珂市	+3.5%	丹波山村
+22.1%	東成瀬村	+8.9%	七飯町	+5.9%	豊丘村	+4.4%	出雲市	+3.5%	精華町
+20.6%	売木村	+8.8%	須恵町	+5.9%	麻績村	+4.4%	幕別町	+3.5%	基山町
+18.2%	台東区	+8.8%	産山村	+5.9%	大玉村	+4.4%	神津島村	+3.4%	青木村
+18.1%	昭和村	+8.6%	始良市	+5.9%	常滑市	+4.4%	京都市上京区	+3.4%	豊後高田市
+16.8%	印西市	+8.4%	京都市中京区	+5.9%	うるま市	+4.4%	滝沢村	+3.4%	伯耆町
+16.3%	東川町	+8.2%	綾町	+5.8%	吉川市	+4.4%	水上村	+3.3%	西原村
+16.2%	中央区	+8.2%	港区	+5.8%	与論町	+4.4%	江東区	+3.3%	行橋市
+15.6%	大和町	+8.0%	浜松市浜北区	+5.7%	東栄町	+4.4%	西ノ島町	+3.3%	大阪市福島区
+15.4%	広野町	+8.0%	大津町	+5.7%	横浜市中区	+4.4%	仙台市青葉区	+3.2%	太宰府市
+15.2%	杉並区	+7.9%	開成町	+5.7%	筑前町	+4.3%	王寺町	+3.1%	茅ヶ崎市
+15.0%	六戸町	+7.7%	富谷町	+5.7%	今帰仁村	+4.3%	三股町	+3.1%	守谷市
+15.0%	八重瀬町	+7.5%	読谷村	+5.6%	おいらせ町	+4.3%	鳥栖市	+3.1%	利府町
+14.4%	名古屋市東区	+7.5%	北杜市	+5.6%	守山市	+4.2%	宮古島市	+3.0%	木島平村
+14.3%	南城市	+7.4%	恩納村	+5.6%	久米南町	+4.2%	西粟倉村	+3.0%	有田川町
+14.2%	大宜味村	+7.4%	島本町	+5.5%	四街道市	+4.1%	みやき町	+3.0%	赤磐市
+13.8%	与那原町	+7.4%	与那国町	+5.5%	小布施町	+4.0%	岩出市	+3.0%	菰野町
+13.4%	東神楽町	+7.3%	上富田町	+5.5%	東串良町	+4.0%	袖ヶ浦市	+3.0%	南房総市
+13.4%	海士町	+7.2%	木津川市	+5.4%	小郡市	+4.0%	紫波町	+2.9%	湯川村
+12.8%	中城村	+7.2%	東御市	+5.4%	御宿町	+3.9%	印南町	+2.9%	大川村
+12.7%	大衡村	+7.1%	三島村	+5.4%	糸島市	+3.9%	廿日市市	+2.9%	芸西村
+12.6%	北中城村	+7.1%	久山町	+5.3%	つくばみらい市	+3.9%	南箕輪村	+2.9%	土佐町
+12.5%	粟島浦村	+7.0%	ニセコ町	+5.3%	大阪市阿倍野区	+3.9%	藤枝市	+2.9%	水巻町
+12.1%	北相木村	+7.0%	名取市	+5.3%	大磯町	+3.9%	江別市	+2.9%	札幌市北区
+11.5%	流山市	+7.0%	滑川町	+5.2%	大村市	+3.8%	中川村	+2.9%	恵庭市
+11.2%	京田辺市	+7.0%	美里町	+5.1%	大山崎町	+3.8%	神戸市中央区	+2.8%	新潟市秋葉区
+11.2%	広島市中区	+7.0%	さいたま市浦和	+5.0%	宮代町	+3.8%	龍郷町	+2.8%	丸亀市
+10.9%	さいたま市緑区	+7.0%	鶴居村	+5.0%	ふじみ野市	+3.8%	広島市南区	+2.8%	志木市
+10.6%	阿武町	+6.9%	鎌倉市	+5.0%	札幌市手稲区	+3.8%	千葉市美浜区	+2.8%	加須市
+10.5%	大阪市北区	+6.9%	小菅村	+4.9%	太地町	+3.8%	瀬戸内市	+2.8%	比布町
+10.4%	さいたま市大宮	+6.8%	箕面市	+4.9%	筑後市	+3.7%	札幌市中央区	+2.8%	清瀬市
+10.4%	阿久比町	+6.8%	富加町	+4.8%	嘉島町	+3.7%	東松山市	+2.7%	北島町
+9.8%	大阪市中央区	+6.7%	葉山町	+4.8%	木更津市	+3.7%	菊陽町	+2.7%	安曇野市
+9.6%	昭和町	+6.4%	吉岡町	+4.8%	広陵町	+3.7%	逗子市	+2.7%	日置市

函館市の高齢者・後期高齢者のくらしは？

要介護3以上 1人1日1万円として年365万円
市負担12.5%=41万円
790人増=3.2億円増！
→どう賄う？

函館市の人口・世帯の特徴

後期高齢者のみ世帯は、すでに全世帯の1/7

後期高齢者独居率は、雪が降らない都心部並み

	2000年	2010年	2020年	2030年	2040年
人口 (千人)	305,311	279,127	249,794	215,148	179,807
高齢者	61,855	76,807	89,036	83,255	78,271
後期高齢者 人口比 要介護3以上	24,874 8.1%	38,339 13.7% 4,584/12.0%	45,680 18.3% 5,393/11.8%	52,376 24.3% 6,183/11.8%	46,387 25.8% 5,476/11.8%
高齢者単身 (男+女)	12,439 2,412+10,027	17,501 3,955+13,546	21,178 5,489+15,688	20,150 5,458+14,916	19,111 5,285+13,827
後期高齢者 単身 (男+女)	5,541 976+4,565 22.3%	9,674 1,771+7,903 25.2%	11,989 2,313+9,676 26.2%	13,970 2,741+11,229 26.7%	12,475 2,467+10,008 26.8%
高齢者夫婦	9,719	12,421	14,549	13,650	12,853
後期 夫婦	1,904	4,105	5,465	6,544	5,924
高齢世帯率	17.4%	23.7%	30.2%	32.8%	37.0%
後期世帯率	5.8% =1/17	10.9% =1/9	14.8% >1/7	19.9% =1/5	21.3% >1/5

函館市の財政はどう推移した？

うちCOVID対策350億円、
定額給付金254億円

単位：億円	05年度	10年度 (05比)	15年度 (同)	20年度 (同)	05年→20年
歳入	1,305	1,278	1,402	1,676	人口 ▲14%
市税 (対歳入)	319 (24%)	323 (25%)	320 (22%)	316 (18%)	⇔全国16%
個人 (同)	94 (7%)	109 (8%)	111 (7%)	114 (6%)	
法人 (同)	31 (2%)	26 (2%)	28 (2%)	21 (1%)	
固定資産 (同)	136 (10%)	133 (10%)	124 (8%)	124 (7%)	
公債 (同)	134 (10%)	110 (8%)	132 (9%)	101 (6%)	⇔全国7%
歳出	1,296	1,266	1,375 (+6%)	1,652 (+27%)	ハコモノ+インフラ更新
職員給与	183	137 (-25%)	118 (-35%)	113 (-38%)	年72億円不足
職員数	2,602	2,050 (-21%)	1,915 (-26%)	1,834 (-29%)	職員1人あたり
公債償還	155	160	161	128	業務81%増
公営事業繰入	145	125	134	184	住民136人
(国民健康保険)	(35)	(26)	(33)	(29)	⇔全国148人
(下水道)	(26)	(15)	(16)	(18)	人件・扶助・公債費
(病院)	(19)	(29)	(23)	(16)	除く歳出 (≡調達額)
(交通)	(4)	(4)	(3)	(3)	628億円 (45%)
(港湾整備など)	(3)	(3)	(3)	(--)	
(他：介護保険等)	(55)	(45)	(54)	(103)	
扶助費 (歳出比)	299 (23%)	362 (28%)	405 (29%)	428 (25%)	⇔全国21%
将来負担 (対税収)	1,640 (5.1倍)	1,515 (4.7倍)	1,454 (4.5倍)	1,390 (4.4倍)	住民1人あたり
地方債残高	1,576	1,528 (-3%)	1,465 (-7%)	1,357 (-13%)	553,689円
支出予定	143	100 (-29%)	132 (-8%)	177 (+23%)	⇔全国42,737円
積立金	79	113 (+42%)	144 (+80%)	145 (+82%)	

金利0.5%で
利払6.7億円/年
=186万円/日

公共施設等総合管理計画（16年8月）

学校、住宅、病院、市民文化等130万 m^2 = 1人あたり4.9 m^2
=全国平均の1.5倍 築30年以上59%

更新 40年間計5477億円=年137億円必要 ⇔ 過去5年実績
114億円 →年23億円不足

インフラ 道1285km 橋251 上水1330・下水1335km

更新 計3580億円=年90億円必要⇔実績41億円

→年49億円不足

→ハコモノ・インフラ計 年72億円不足

高齢化第2幕

人口減 + 小家族化

(独り暮らしの高齢者が急増する)

前期高齢者激減 & 後期高齢者激増

(地域貢献の中心部隊が減っていく)

まちづくりは、誰のため？ 何のため？

たとえば・・・

- ・ あいさつできる関係づくりのため。
- ・ 子どもたちの世代が誇りをもって暮らし、働くため。
- ・ 災害時の安心のため



地域の人たちの、命と暮らしを守る！

イベント < 福祉・防災+経済

高齢者の健康

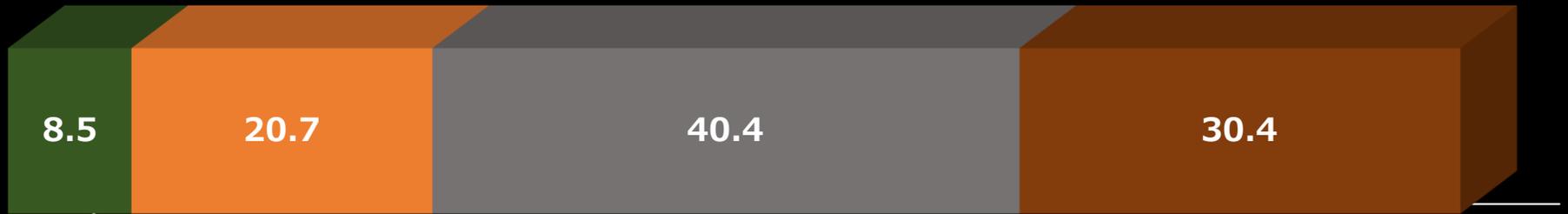


地域の資源・資産

世帯の違いによる、近所との付き合い方調査

■ とても親しい ■ やや親しい ■ お付き合い程度 ■ 全く無い

その他の世帯

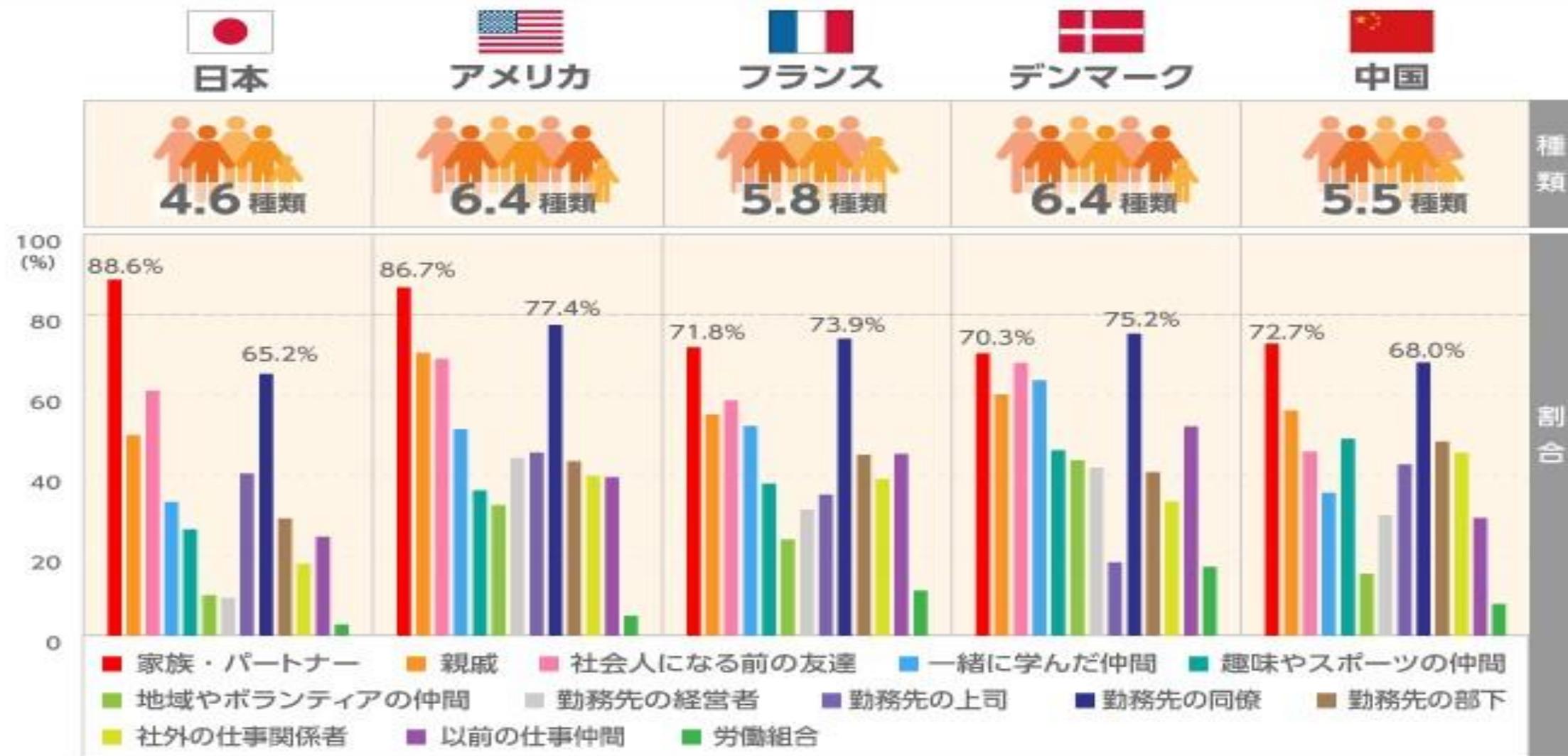


単身世帯



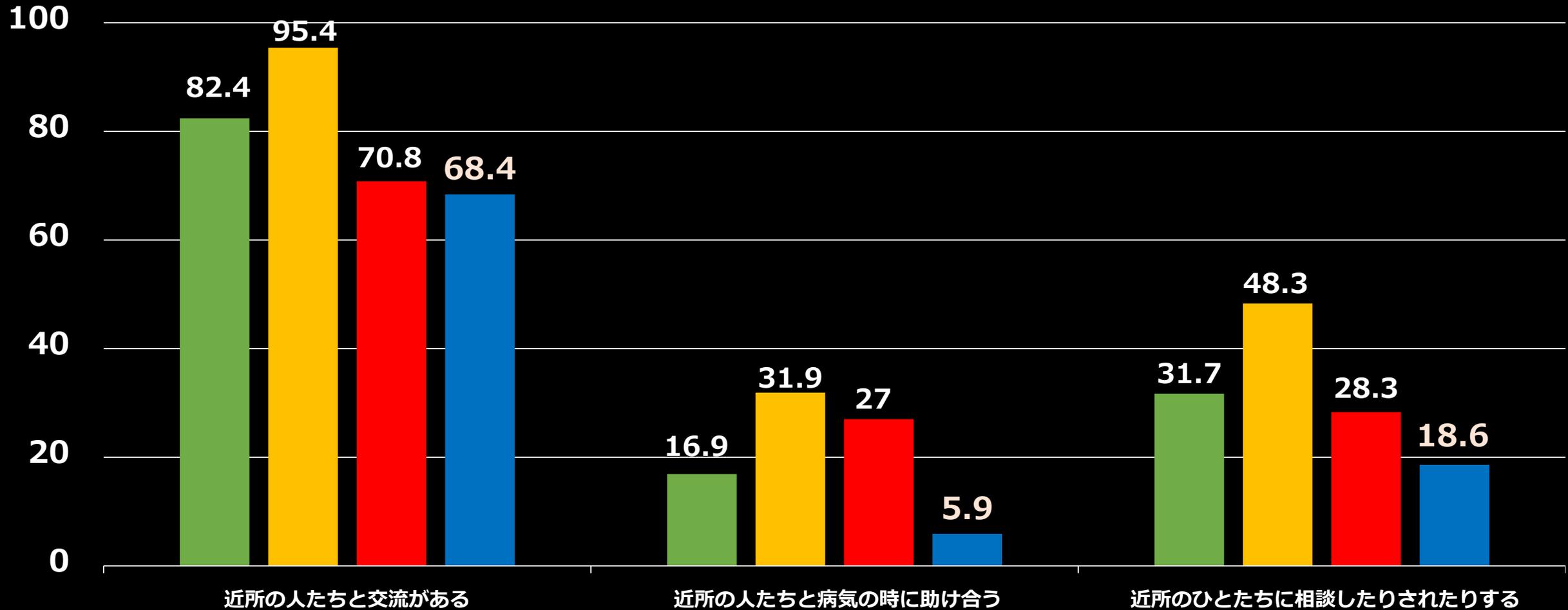
日本は、人間関係が家族と職場に集中している

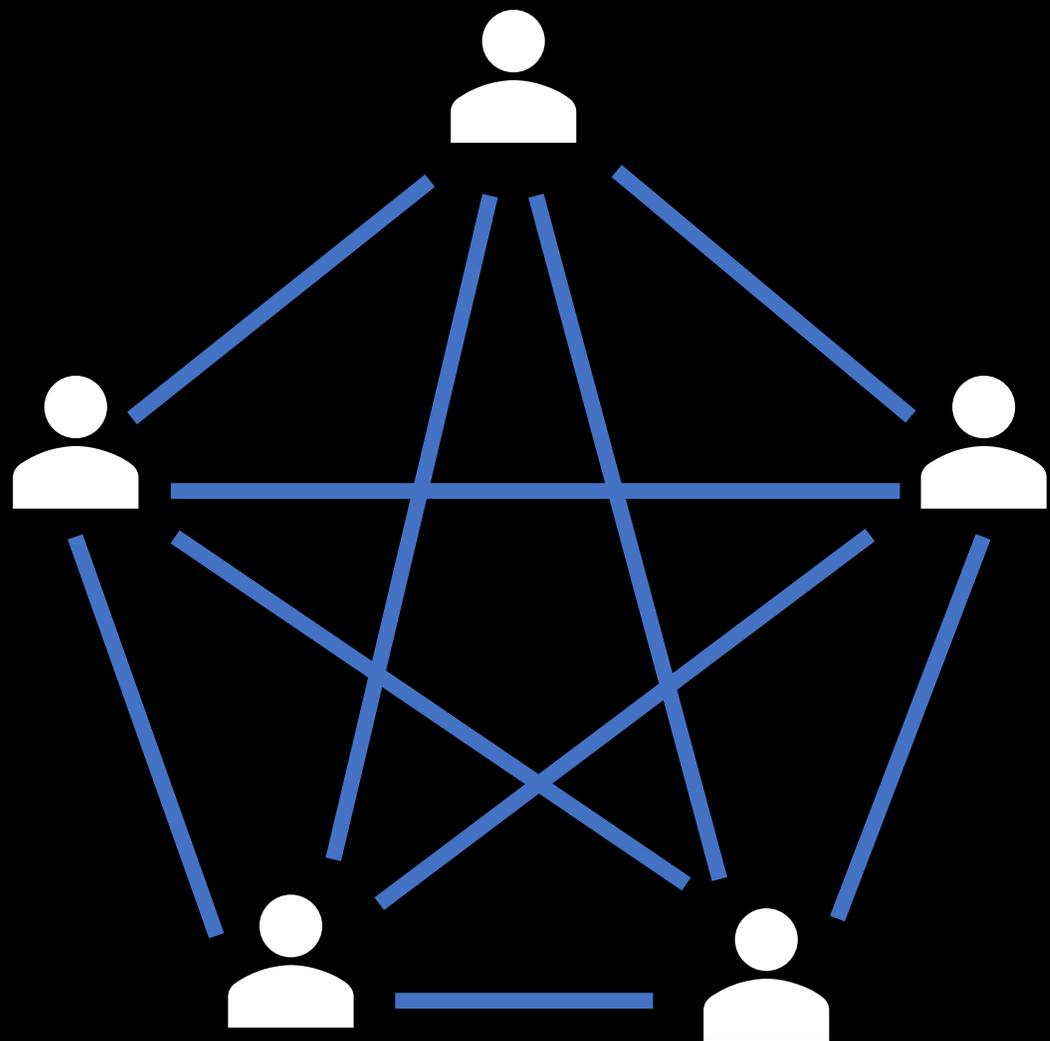
交流のある人間関係



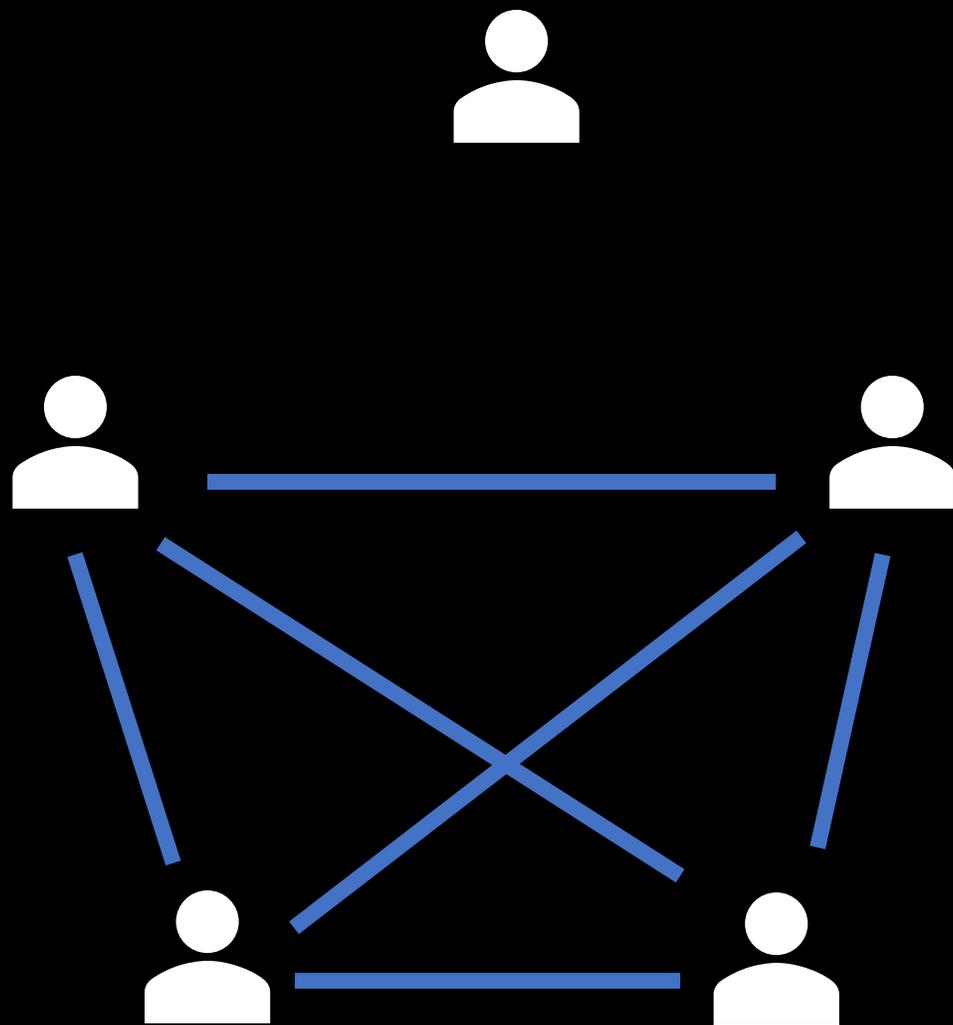
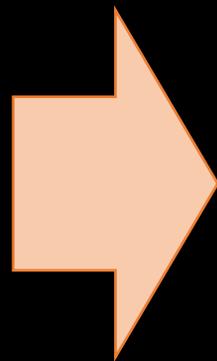
高齢者と近所との人間関係の国際比較

■ スウェーデン ■ ドイツ ■ アメリカ ■ 日本





10通り



6通り

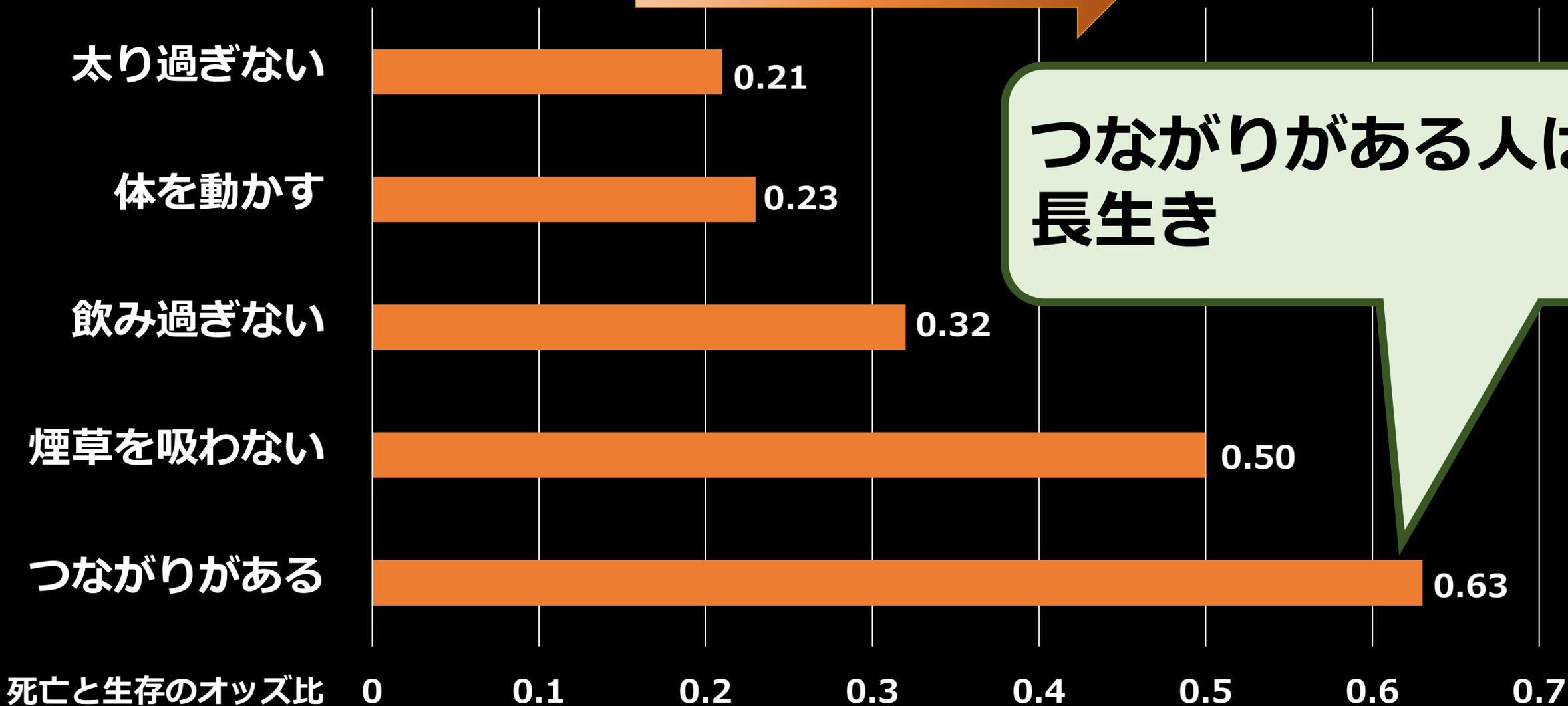
人「交」密度 = 「つながり」

人口（人の数）ではなく、人と人との交わり「人交」がたくさんあるまち。
つまり・・・

「あいさつ」でできる関係
づくり

寿命に影響を与える要因

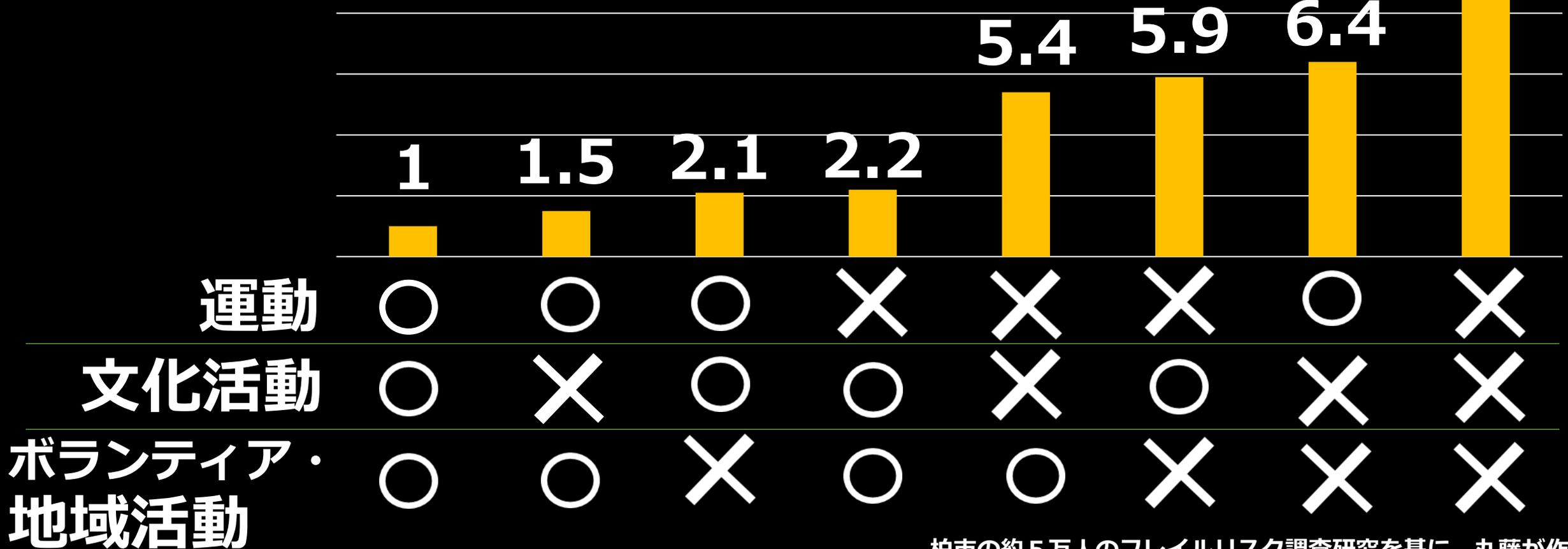
影響力の大きさ



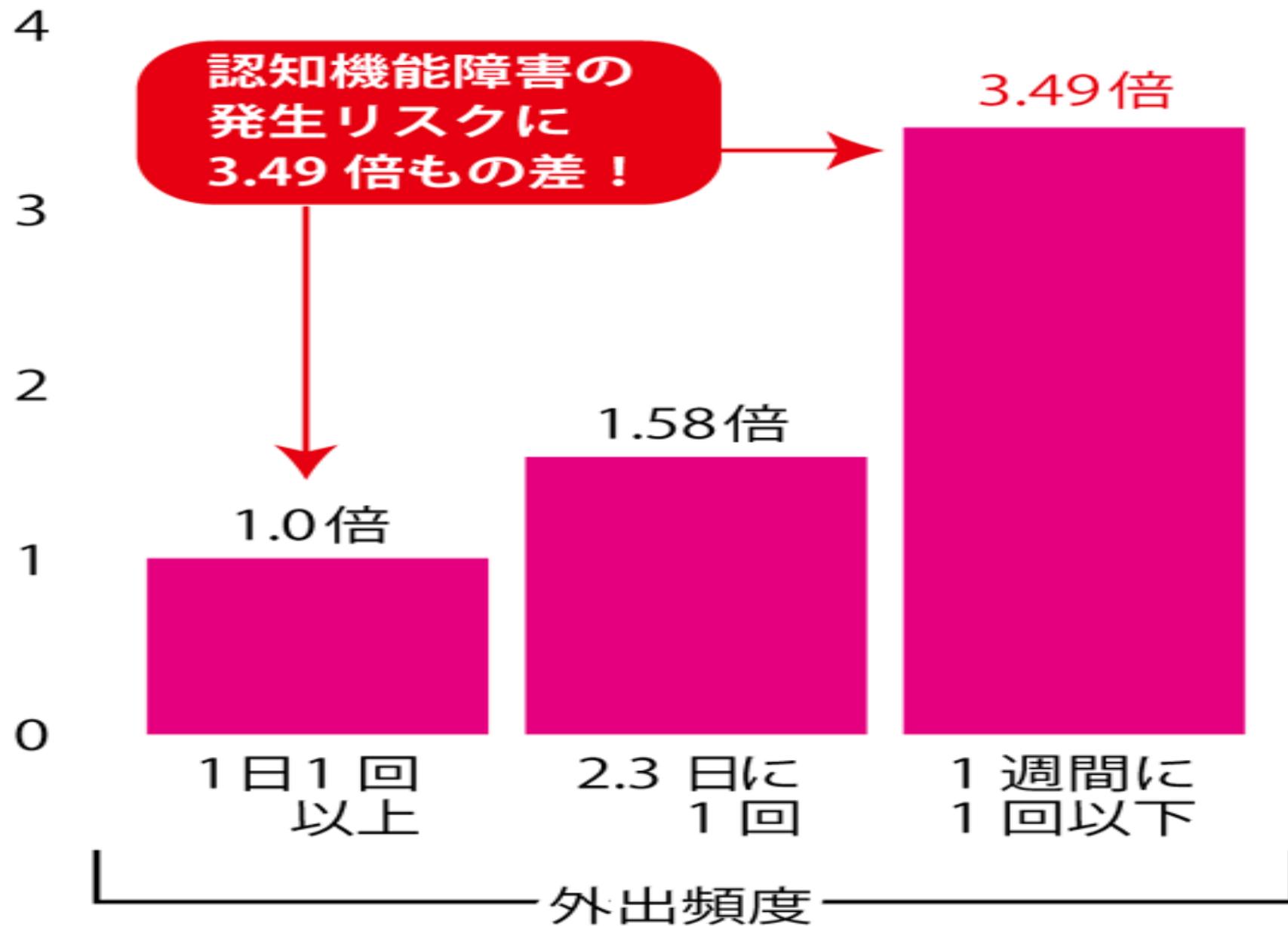
つながりがある人は、
長生き

運動だけしていても、
仲間がいないと元気になれない！

活動の有無と健康



認知機能障害の発生リスク
(2年間の追跡)



いつまでも、元気で暮らすために

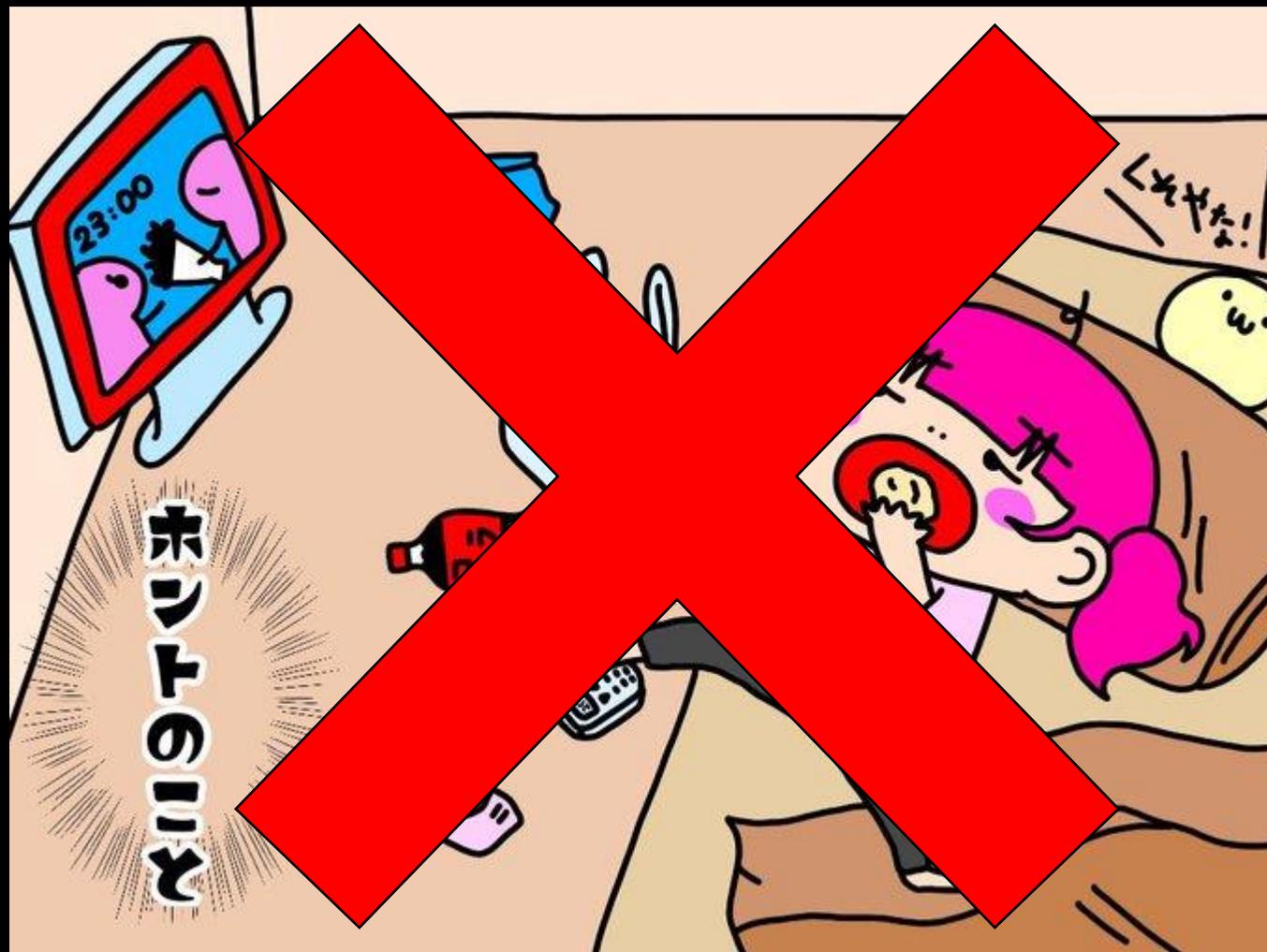
住み慣れた地域

「なじみの人間関係」

自分らしい暮らし

「マイペースに生活できる気楽さ」

マイペース

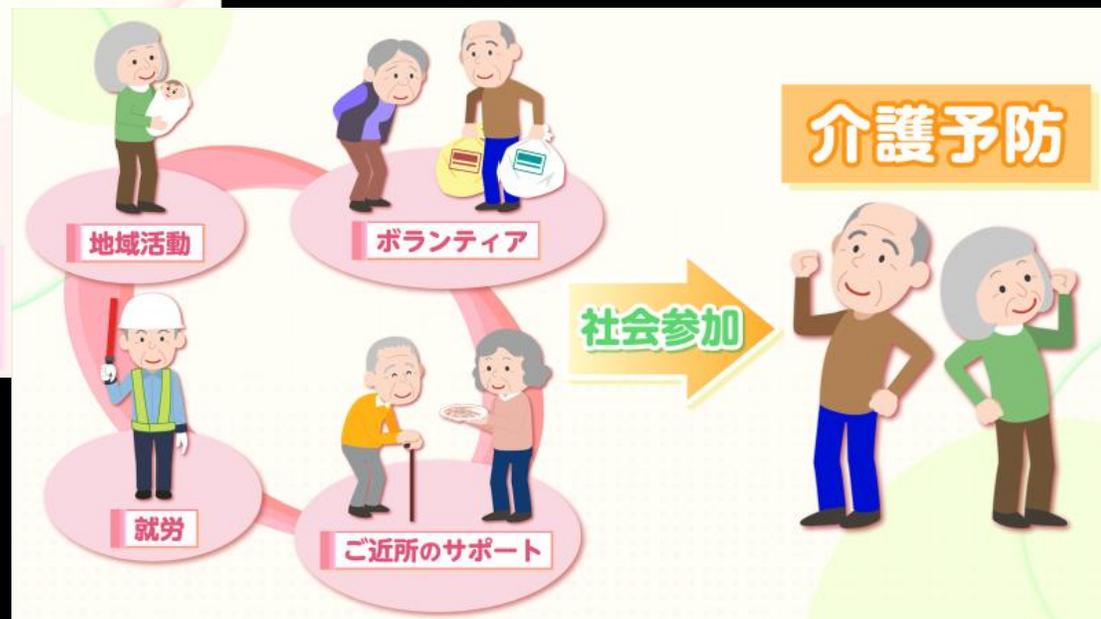


マイペース

これからの介護予防



社会参加の促進による介護予防



希望その2

子ども、高齢者、障がい者など全ての
人に配慮し楽しめる。(受け身)



子ども、高齢者、障がい者
など全ての人が活躍できる。

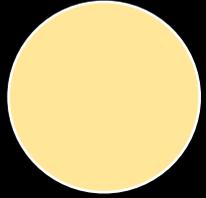
(住民主体)

活躍づくりのための
魔法の言葉

「私のできることでよければ!」

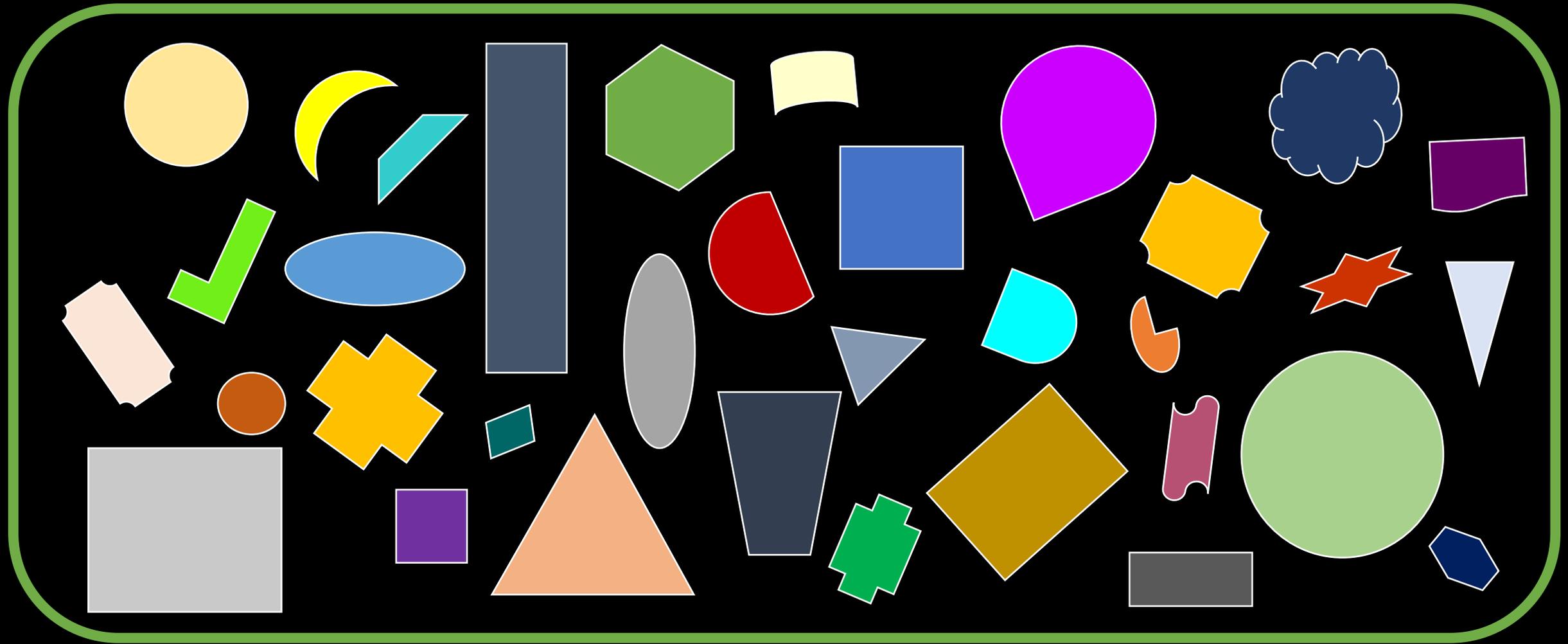


総合ミュージアム



自分ひとりでは、やれることは少なくとも

総合ミュージアム



いろいろな「できること」が集まってくると・・・

集まれる場が必要

地域にとつての通いの場

(居場所・サロン・斜めの場)

交流したいという人間の欲求に応える場

みんなで集まる良さ

それぞれのできること出し合い

みんなで笑顔に！

同じ思いを持ち

一緒に汗をかいて

最終アウトカムに
向かって

○+○ → ○×○

居場所ができる



「人交密度」が上がる



共感が生まれる



地域づくり

博物館が、居場所になると・・・

であう

“まち”に興味がある
人が出会う。



つながる

やがて、知り合いや仲
間が増え、自然と色ん
な話しをするようにな
る。



つたえる

生まれたアイデアは、
色々な立場の人に、
楽しさを含んで伝え
ましょう！



うまれる

話しの中から、地域を良く
していくアイデアが、
ヒョッコリ生まれる。



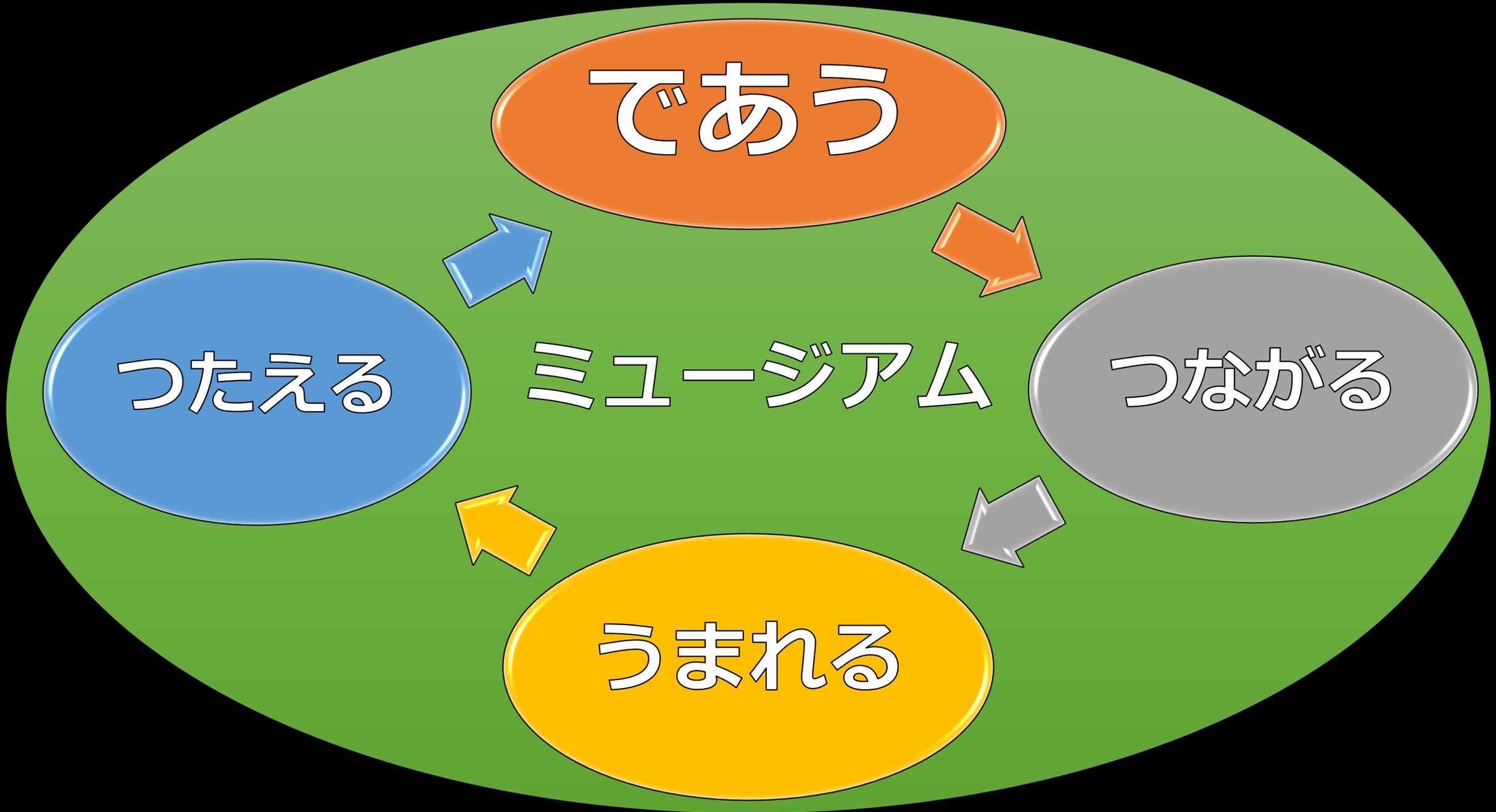
であう

つたえる

ミュージアム

つながる

うまれる



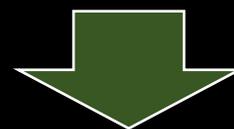
人間を支える3つの自由



山際壽一
元京都大学総長

- 動く自由
- 集まる自由
- 対話する自由

共感
(楽しそう!)



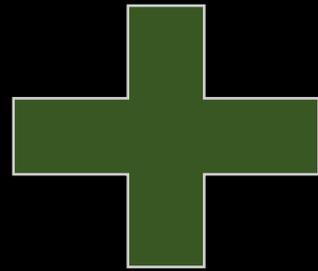
みんなでアイデアを出し合って、
膝を叩いて「やろうか！」という気になることが重要。

地域をつくっていくための3つのこと

1. 今ある地域の良さ（資源）を、
もっと良くしていく
2. 共感を生み出していく
3. 関わる人たちの人間性（ハート）
を高める

希望その3

豊かな学びや体験の場を提供



対話と共感が生まれる場

共感をつくつコツ！

自分の「共感ポイント」を見つけよう！

- **ゆるさ** (親しみやすさ、声をかけたくなる「隙」など)
- **かわいさ** (丸みのある部分、小さい部分、笑えるところ など)
- **ゆるカワポイント**
(周囲を緊張・疲れさせないための工夫やもの)
- **ゆるキャラ要素**
(思わず笑われてしまった経験、ズレているところ、
自分が持っているネガティブな部分で面白がれるところ など)



ワル多はげます会

はげの光は平和の光



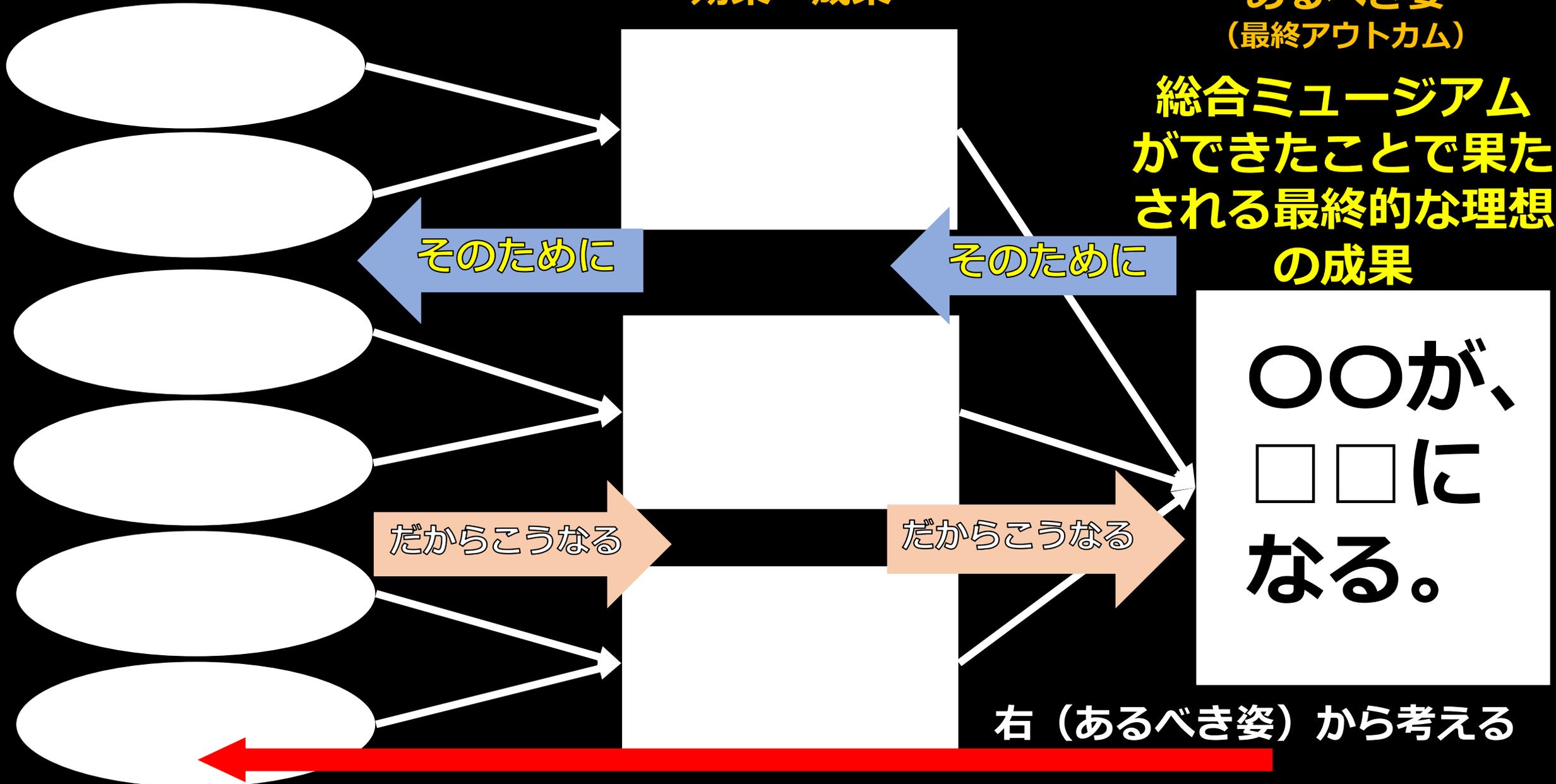
暗い世の中 明るく照らす



ヒト・モノ・コト (アクティビティ)

期待される 効果・成果

最終的な成果 あるべき姿 (最終アウトカム)



たたき台によると・・・

- ・ AR（拡張現実）、VR（仮想現実）などのデジタル技術を活用したミュージアム

とあり、確かに必須なのですが・・・

デジタル技術は、設置した次の日から古い物になっちゃいます。

本気を出す（徹底的に常に最新！）

or

「共感とゆるさ」でなんとかする（人情デジタル）

たたき台とパブリックコメントを読んで

最終アウトカムが共有されていない段階なので、仕方がないですが、パブリックコメントのほとんどは、アクティビティの視点からの意見でした。これではまとめるのは至難の業ですし、左（アクティビティ）から考えていくと、失敗する可能性が大きくなります。

先ずは、右（最終アウトカム）を市民総意でまとめることが必要なのでは、と感じました。

希望その4



当たり前ですが、5年経つと、周囲も、自分も、
5歳ずつ年を取ります。

人口より課題が増える時代・社会では、
「これまで通り」では歯が立たなくなります。

だからこそ、

頭も、心も、柔らかくして。

「・・・してみる」を続けていきましょう！

以上です。

